

# 予算委員会 会議録

日 時 令和8年3月16日（月曜日） 午前9時55分 ～ 午後4時29分  
場 所 白杵庁舎2階 全員協議会室

## 出席委員の氏名

委員 長 匹田 郁	副委員長 戸匹 映二	委員 平川 幸司
委員 甲斐 尊	委員 安東 鉄男	委員 芝田 英範
委員 河野 巧	委員 川辺 隆	委員 匹田久美子
<del>委員 伊藤 淳</del>	委員 梅田 徳男	委員 広田 精治
委員 奥田富美子	委員 大塚 州章	委員 武生 博明
委員 吉岡 勲	委員 牧 宣雄	

## オブザーバー

議 長 内藤 康弘

## 欠席委員の氏名

（ 8番 伊藤 淳 ）

## 説明のため出席した者の職氏名

政策監（総務・企画担当）	安東 信二	政策監（市民担当） 兼福祉保健担当	柴田 監
政策監（産業担当）	姫野 敬一	政策監（野津地域振興担当）	川野 徳明
教育次長兼教育総務課長	佐藤 忠久	消防本部消防長	中尾 敬
総務課長	佐世 善之	総務課参事	桑原 昇造
総務課参事兼DX推進室長	江川 徹	財務経営課長	吉良 猛
秘書・総合政策課長	望月 裕三	秘書・総合政策課参事	内藤 健治
地域力創生課長	藤本 健次	防災危機管理課長	目原 康弘
市民生活推進課長	川辺宏一郎	市民課長	齋藤 正雄
市民課長参事	後藤 秀隆	環境課長	麻生 幸誠
税務課長	尾本 浩	部落差別解消推進・ 人権啓発課長	寺本 政浩
保険健康課長	川辺みさご	高齢者支援課長	安藤 隆文
子ども子育て課長	竹尾 幸三	福祉課長	大戸 敏雄

福祉課参事	二宮 貴司	都市デザイン課長	広瀬 隆
建設課長	小坂 郡師	水道事業所長 併上下水道課長	村上 和
水道事業所参事監 併上下水道課参事監	日高誠一郎	産業観光課長	山木 哲男
産業観光課参事監	安東 昌文	会計課長	瀧澤 愛
契約検査課長	小野 憲吾	学校教育課長	新名 敦
学校教育課参事	高田 教一	社会教育課長	那賀 啓史
文化・文化財課長	日高 昌幸	消防本部総務課長	廣戸 隆宏
消防本部警防課長	庄司 哲宏	消防本部予防課長	三城 英昭
農林振興課長代理	芦刈 正文	農林振興課農林基盤整備室長	梶原 弘記
農林振興課有機農業推進室長	荒木 浩	その他関係職員	

#### 出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英      次長 小嶋佳希      主幹 原 伸行      書記 工藤真里子

#### 傍聴者

( 1 名 )

#### 会議に付した事件及び審査結果

番 号	件 名	審査結果
第 2 8 号	令和 8 年度白杵市一般会計予算	原案可決
第 2 9 号	令和 8 年度白杵市水道事業会計予算	原案可決
第 3 0 号	令和 8 年度白杵市下水道事業会計予算	原案可決
第 3 1 号	令和 8 年度白杵市国民健康保険特別会計予算	原案可決
第 3 2 号	令和 8 年度白杵市介護保険特別会計予算	原案可決
第 3 3 号	令和 8 年度白杵市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決

午前9時55分 開議

○委員長（匹田 郁）

定刻よりも少し早いですが、全員そろっておりますので、ただいまから、予算委員会を開催いたします。本日は傍聴の申出がありましたので許可をしております。

これより議事に入ります。3月12日に本委員会に付託されました議案は6件であります。

なお一般会計と特別会計全ての説明と質疑終了後に一般会計から順次討論採決を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

本日の委員会は、お手元に配付しております、委員会次第により進行いたします。また、質疑及び答弁を行う場合の挙手についても、徹底をお願いいたします。

ではまず初めに、第28号議案、令和8年度白杵市一般会計予算を議題といたします。

初めに、申出により執行部より説明があります。

◎政策監（安東信二）

総務企画政策監の安東です。本日より予算委員会どうぞよろしくお願いいたします。

当初予算の説明につきましては、まず概要を財務経営課長がご説明いたします。その後、個別の事業予算は部門ごとに各担当課よりご説明させていただきます。各事業の説明につきましては、歳出予算の説明時に財源として歳入予算の説明をさせていただいているところですが、予算委員長の提案により、これまでのように歳入のページに1回1回戻っての説明は省略させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは財務経営課長より概要を説明いたします。お願いします。

◎財務経営課長（吉良 猛）

（ 令和8年度 当初予算の概要説明資料に基づき説明 ）

個別の事業につきましてはこの後担当課よりご説明いたします。

以上で、令和8年度一般会計予算の概要について説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午前10時05分 休憩

---

午前10時05分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎政策監（安東信二）

それでは概要説明が終わりましたので、消防本部より予算の説明をさせていただきます。よろしく願いいたします。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午前10時05分 休憩

---

午前10時05分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

それでは、消防本部の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎消防長（中尾 敬）

消防長の中尾です。それでは消防本部所管分令和8年度当初予算について、担当の廣戸総務課長より説明させていただきます。よろしく願いいたします。

◎消防本部総務課長（廣戸隆宏）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

11ページ、歳出ナンバー2、消防本部のマイナ救急システム導入事業ということで、マイナ保険証を活用し、という部分で通常、救急車で運ばれるとなると市内に行くことが多いと思うんですけども、かかりつけ医が大分市とか、そういうマイナ保険証に何か書かれていることを重要視するのか。希望があって大分市に搬送してくださいとなったら、そういうふうにもできるのかどうかその辺はどうでしょう。

◎消防本部警防課長（庄司哲宏）

河野委員のご質問にお答えいたします。マイナ救急事業につきましては、システムにあります情報等を利用させていただきながら、病院選定等に生かしていくという仕組みでございます。大分市にかかりつけの方もいらっしゃいますし、臼杵市にかかりつけの方もいらっしゃいます。そういった特殊な事案以外は、今までどおり、臼杵市内の直近の医療機関を選定して搬送していかうという感じで行なっております。以上です。

○委員（河野 巧）

続きまして、12ページの歳出4番、防火水利のデータデジタル化事業ということで、これはありがたいなと思っているんですけども、この電子地図上で確認できるように電子化する

ときに、見れる方は消防職員だけなのか、団員も見れるのか、地域の人も見れるのか、その辺はどうでしょうか。

◎消防本部総務課長（廣戸隆宏）

河野委員の質問にお答えいたします。今回デジタル化事業につきましては、市のホームページ上に上げて、市民の方も閲覧できるようなことを考えております。以上です。

○委員（奥田富美子）

12ページ歳出6番です。消防本部の多目的広場の塗装改修となっておりますが、多目的広場は芝生のことでいいのでしょうかということと、それに関係して塗装改修はどの様にされるのか教えてください。

◎消防本部総務課長（廣戸隆宏）

奥田委員の質問にお答えいたします。多目的グラウンド、消防署の隣のグラウンドになりまして、屋外ステージと芝生と庁舎のあいだに、パーゴラという休憩できるスペースがございますけれども、そちらのほうが、結構、錆びがきておりますので、そちらの部分について塗装工事をするといった形になります。以上です。

○委員（河野 巧）

もう1点お願いします。12ページの5、器具費のところ、消防団員用のジェットシューター66着の備品購入費等ということですが、ジェットシューターを66着買うことで、どれぐらい整備が進むのか、今後も予定されるのか、その辺ご説明をお願いします。

◎消防本部総務課長（廣戸隆宏）

河野委員の質問にお答えいたします。ジェットシューターにつきましては現在の野津方面隊のほうには51着、各分団部に整備をしております。しかしながら、白杵の方面隊にはまだ今のところ整備がございませんので、各部に2着ずつ66着を今回配備し、一応今回の配備で終わりますけど、まだ状況を見ながら必要に応じて検討していきたいというふうに考えております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」 の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で消防本部の議案質疑を終わります。暫時休憩いたします。

午前10時17分 休憩

---

午前10時19分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。次に、総務企画関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎政策監（安東信二）

政策監の安東です。それでは総務企画部門、6課から説明をいたします。冒頭説明しましたように歳入は、主なものを最初に言います。そして歳出の財源説明のときに、歳入のページまで戻らずに説明をする、番号等を言うだけで財源を説明いたしますので、よろしくお願いいたします。以上です。

◎総務課長（佐世善之）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎財務経営課長（吉良 猛）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎秘書・総合政策課長（望月裕三）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎地域力創生課長（藤本健次）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎防災危機管理課長（目原康弘）

まず初めに、大変申し訳ありませんが、訂正をお願いします。14ページ、歳入ナンバー3番、土地災害情報提供強化事業補助金と記載されておりますが、土地ではなくて土砂災害でございませぬ。大変失礼しました。

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎市民生活推進課長（川辺宏一郎）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（奥田富美子）

17ページをお願いします。17ページの29と30ですが、働き方のところや女性活躍のところ、とても内容について期待しているところです。29については、対象を医療機関、企業に絞っているところのその意味についてお願いします。

それと30は、ワークショップ形式というふうに説明があったと思いますが、ファシリテーターがとても重要な役割を果たすと思うのですけれど、どういう方が進めるようになっているか、もう少し詳細をお願いします。

それと37番のところですが、お試しで白柁に暮らしていただくということで、1,000万円近い予算ですけれど、その内訳についてお願いします。

### ◎秘書・総合政策課長（望月裕三）

奥田委員のご質問にお答えします。まずナンバー29、未来を選択する会議の関連イベント、これが対象の事業所が、テーマが女性活躍等になっているということでございますが、これは未来を選択する会議自体が、人口減少に非常に特化した会議であるということで、国のほうが行っているのですが、以前人口戦略会議として消滅可能性自治体とか、そういったことの研究をされてたところということで、人口減少に対して非常に特化した取組をする会議の延長線上でのイベントということで、特に働き方改革や女性を活躍としたテーマとすることで、子育てしながら、子供を産みながらも持続可能な取組ができる、そういったところを目指していくものを中心とした、そういったイベントになるように考えております。以上がイベントの目的等になりますが、対象企業は、市内の医療機関とか、企業、商工関係者、そういった方もしていきたい。あとは市内の医療機関、介護関係者や商工関係者、そういった方を対象とするというふうに考えているところであります。

続いて30番のやるこしベースに関してですが、これにつきましては、市役所とかも含めてになるのですが、民間の事業所の比較的若い方、40代ぐらいまでの方でチームというか、そういう研修の場を設けることができるというふうに考えております。

イメージとしましては、年齢が16歳から40歳程度までを想定をしておりますが、条件としては、市内在住で勤務も市内の方、若い方、女性の方で、将来、地域事業、組織を担う意欲がある方や業種や立場を超えた交流をしたい、また、協働に関心ある方、そういった方を対象としたいと考えております。

まだプログラム全体はあくまでも想定ではあるのですが、当然ワークショップというような形をする際は、専門の講師にご依頼をするようなことも考えておりますし、地域のイベント、街歩きなど、そういったものを、まずは集まっていたいただいて、そのメンバーの方に協議をいただいて実施をする形をとりたいと考えておまして、メンバーが決めたやり方に対して、柔軟に対応できるよう、講師派遣料等組ませていただいている、そういった状況でございます。以上です。

### ◎地域力創生課長（藤本健次）

奥田委員のご質問にお答えいたします。ナンバー37の、保育園留学運営業務の財源の内訳ということですが、事業費が990万円、そのうちの国庫支出金として、歳入の18番の地域未来交付金を一部充当するようしております。残る495万円、これは一般財源なのですが、このうちの80%が交付税措置されるということで、市費としては全体の中の10%ほどとなっております。

この事業費の中身ですけれども、運営事業者の事業費なのですけれども、内容につきましては、特にこの留学プランの募集広報等の告知やウェブページ等の作成、それから、保育施設、また宿泊施設、そういったその他施設との連絡調整、また留学家族からの申込みの受付や利用料の収納とか、そして保育園、宿泊施設等への利用料支払い、また苦情等の問合せ、そういっ

た全てのことを、この事業者が運営していただくようになっております。以上です。

**○委員（奥田富美子）**

29のところですが、参加者を医療関係者と企業、いろいろおっしゃっていただきましたけど、普通にそういうところに所属していない人が希望される場合は、参加可能でしょうか。

**◎秘書・総合政策課長（望月裕三）**

まだ告知の仕方等の決定はしておりませんが、広く参加ができる形で呼びかけはしていきたいと思っております。以上です。

**○委員長（匹田 郁）**

ほかにございませんか。

**○委員（河野 巧）**

全体の人件費についてなんですけれども、15ページ、歳出ナンバーの1と2と4になるのですけれども、特に4番のほうで、会計年度任用職員分とあるのですけれども、地域おこし協力隊とか、一般財源じゃない部分の人件費というのは全部この中に組み込まれているのでしょうか。そのご説明お願いいたします。

**◎総務課長（佐世善之）**

河野委員の質問にお答えいたします。雇用形態としては、会計年度任用職員として雇用することになっておりますので、地域おこし協力隊の人件費についても、こちらに全部含まれております。以上です。

**○委員（河野 巧）**

今年度、令和7年度中に結構いろんな協力隊員の募集要項が出ていて、その方々が採用になったのか、それがこの中に組み込まれているのかというのは、もう少しご説明していただきたいのと、地域プロデューサー等、総務省の予算じゃないかなと思うのですが、そういうのも活用した部分もこの中に入っているか、あと、各省庁に出向、人事交流で行っている方もこの中に全部入っているのか、ご説明お願いします。

**◎総務課長（佐世善之）**

河野委員の質問にお答えいたします。地域プロデューサーについても全てこの予算には入っております。ただ、各省庁に派遣する職員については、正規職員ということで、1番の給料、2番の手当、3番の共済費、そこに人件費として計上しております。ただし、国の方につきましては、割愛という制度を使えますので、制度的には一度退職をして行くようになっています。受け入れる方については、今度うちのほうで採用ということになっておりますので、来る方の分を負担して、行く方については、向こうで負担というようなこと。割愛という退職の制度ということでございます。以上です。

**◎地域力創生課長（藤本健次）**

河野委員の質問にお答えいたします。地域おこし協力隊は、歳出のほうで3名分を計上しております。そのうちの2名が今働いていただいている分です。1名を枠という形でとってお

ります。そしてこの7年度に地域おこし協力隊の募集、応募ということで、6件の事業に関して応募をかけたのですけれども、今のところまだ採用ということになっておりません。うち2件ほど手が上がったのですけれども、辞退もあり、一次で採用にならなかったというのを含めて、今のところゼロ件となっております。以上であります。

#### ○委員（広田精治）

歳入について2点と、歳出について1点、お聞きします。歳入の11番、財政調整基金の繰入金のところですけど、これ、もちろん今の積立ての取崩しということでもいいですよ。過去5年間ずっと見てみたのですが、30億円から29億円、30億円をずっと続けているんですよ。結局、過去5年間で取崩した年度で1番大きい金額が、令和4年の7,500万円ですね。今回はその10倍なのです。そこまで歳出が膨らんで、この取崩しで充たしようと、取り崩さなければならないなというようになった要因、どこに充当するために、7億円の取崩しが必要になったのか、それを聞きたい。つまり、前年の決算見込みで30億円ですよ。だからこれによって結果的に23億円になるのですよね。だから、これまでの5年間で最も多かった年が7,500万円。その10倍の取り崩しになっているのはどうなのかということ。

#### ◎財務経営課長（吉良 猛）

広田委員のご質問にお答えいたします。過去5年で最大が7,500万円というふうにおっしゃられているのですけれども、多分そういったことはないと思います。そこは調べさせていただきませんが、7年度も7億円ですし、当初予算での取崩しは毎年、6億、7億円前後で取崩しをしていると思いますので、7,500万円ということはないと思います。

#### ○委員（広田精治）

今朝こそ、令和4年度決算書の末尾最終ページのところにあるやつを見て、取崩しと積立てがありますから、その差額ですよ、年間ですから。間違いありません。

#### ◎財務経営課長（吉良 猛）

広田委員のご質問にお答えいたします。今、決算を見られたということなのですが、当初予算の段階では、どうしても歳入が見込めない部分がございます。

特に市税でありますとか、交付税、国県の剰余金と見込めない部分がございますので、その部分を財政調整基金で調整といいますか、させていただいております。

決算になりますと、市税等が確定いたしますので、結果として取崩しが7,500万円で済んだというような結果になっておりますので、当初予算と決算と比較をされております。

そこには差が出てくるのではなかろうかというふう考えております。

#### ○委員（広田精治）

そうしますと、来年度1年経過して、決算を迎えたときには、やはり同じような状況になるという見込みでいいですか。

#### ◎財務経営課長（吉良 猛）

広田委員のご質問にお答えいたします。もちろん先の話ですので、確実なことは申し上げら

れませんけれども、現時点、8年度の予算の時点でも同じく市税等、見込みができない中で、最低限の見込みをさせてもらっていますので、その部分が確定したときには、3月補正、また最終予算で調整をさせていただいて、できる限り、繰入れは少なくするというような形で決算をしたいというふうに考えております。

#### ○委員（広田精治）

もう1点、歳入で20番のふるさと納税寄附金です。私の記憶とといいますか、皆さんの記憶もそう思うのですが、コロナ禍の前、5年6年前は、7億円とか8億円とか、そういう規模のふるさと納税寄附金の収入だったんですね。

今、今年度見込み3億5,000万ですか。その要因、減っていますね、この4、5年見た傾向と半額くらいまで減ってきている原因を、なんだと捉えられているか知りたいのですが。

#### ◎秘書・総合政策課長（望月裕三）

広田委員のご質問にお答えいたします。ふるさと納税の収入の減少ということでございますが、直近ここ数年の実績として大体6億円程度ぐらいで推移しているということで、今年度も、それに近い数字ぐらいになるかなと考えているんですけれども、やはりピーク時から見ると若干落ちてきているというのは否めないかなというふうに考えております。ただ、その背景としましては、やはり全国的に見ましても、ふるさと納税に力を入れている自治体が非常に増えてきたことが一つの要因になってきているかなというふうに考えております。

そうしたこともございますし、白杵市独自の課題としては、例えば、以前は有機野菜等、頻繁に出せていたところはあるのですが、そういうのがなかなかできないような事案も発生したということで、そういったことが重なり若干は落ちてきている傾向にあるというところですが、努力をして維持向上には努めている状況でございます。以上です。

#### ◎政策監（安東信二）

広田委員のふるさと納税の補正でございます。最終的に望月課長が言いました6億近い歳入になります。毎年、当初予算では3億5,000万をまず計上します。その状況によりまして、いつも9月補正12月補正で最終的に6億という予算に持って行ってございますので、当初はまず3億5,000万を、これは例年どおりの計上額でございます。

#### ○委員（広田精治）

歳出の21番。長期債償還利子ですが、前の年やこの前の年に比べると、かなり金額が大きいです。元本の償還に比べれば、特に理由があったのかなと思うので、そこを聞かせてください。

#### ◎財務経営課長（吉良 猛）

広田委員のご質問にお答えいたします。償還利子の上がった理由ということでございますけれども、ここに見込みとして、7年度の起債を8年度に入って4月5月に借入れをいたします。その利率が近年上がってきておりますので、昨年より高く見込みをしております。そういったところで、昨年の当初予算と比べて上がっておるという状況でございます。以上であります。

**○委員（河野 巧）**

奥田委員の質問に関連するのですけれども、29番と30番。秘書総合政策課が担当ですけれども、中身を見ると地域力創生課もしくは産業観光課とかいうのも絡んでくるのかなと思ったのですけれども、人材に特化したような形として考えたらよろしいでしょうか。ご説明お願いします。

**◎秘書・総合政策課長（望月裕三）**

人材育成事業ですが、30番のやるこしベースについては、人材育成ということを目的としたものになっています。29番の未来を選択する会議については、人口減少、少子化対策に対する対応の検討というような目的でございます。以上です。

**○委員（河野 巧）**

新規になるので、なかなかどういうことをするのかというの、思い描けないもんですから、質問させてもらったのですけれども、講演会ですので複数回なのか1回なのか、するとなると結構な事務量になると思うのですけれども、どちらかに委託されるのか内部で行うのか、その辺の説明をお願いします。

**◎秘書・総合政策課長（望月裕三）**

河野委員のご質問にお答えします。未来を選択する会議自体は、講演会を9月に1回実施する予定としております。主体は、未来を選択する会議の関連イベントということで市が主体で実施はするのですけれども、当然その講師等につきましては、未来を選択する会議のほうから、ご協力をいただいて、人選いただいた方に来ていただく、そういった予定をしております。段取り等については、未来を選択する会議と協議をしながら市の方で準備を進めていく、そういった形を考えております。以上です。

**○委員（河野 巧）**

あと30番のほうですけど、白杵市人材育成事業ということで、年に1、2回行っている人材会議とはまた違う会議になるのでしょうか。

**◎秘書・総合政策課長（望月裕三）**

河野委員のご質問にお答えします。現在当市で行われる人材育成会議、こちらのほうは、特に白杵高校とか海洋科学高校とかの活躍を後押しするための会議という位置づけが強いですが、これにつきましては、今回初めて開催をするということで、あくまで若者がそれぞれ自発的に研修をする場を設ける、そういったイメージでありまして、まったく人材育成会議と切れるというわけではないのですが、また別の形で実施をするものというふうに捉えていただければありがたいと思います。以上です。

**○委員（河野 巧）**

違う形で行うというのが分かりました。これも一緒なのですけれども、複数回なのかとか、こういうのは、人材は長丁場でしないと、1年やったから育つものではないと思っていて、一度できると継続事業なのかなと思っていて、その辺の今後の想定を説明していただきたいと

思います。

◎秘書・総合政策課長（望月裕三）

河野委員のご質問にお答えします。今回、このやるこしベースについては、全体で2か年を想定した事業のプログラムの組立てを事務局としては案として捉えております。

2か年で全体8回の会議を実施するというので、1回に当たり、2、3時間程度のワークショップ等を開催していただく、そういうものをイメージしております。

ワークショップで、地域の様々な課題等について協議をいただく、また、街歩きをしていただくとか、当然先ほどもお答えしたのですが、メンバーによってテーマ等は変わってくるというふうに思いますが、それに合う講師等を依頼し、勉強会を行う、そういった部分も含めて全体で8回ぐらいの会議を実施する。そして最終的な第8回には、それに対する成果発表をしていただくことで、市政または民間企業も含めてこういった提案ができる、そういった研修会にできればというふうに考えております。以上です。

○委員（河野 巧）

続いて、歳出17ページ、歳出の23番、白杵市公式ホームページリニューアル事業ですけれども、目玉となるというか、この辺がこれまでと違うというのがあればお知らせください。

○委員長（匹田 郁）

河野委員。一問一答まだ続きますか。

○委員（河野 巧）

はい。

○委員長（匹田 郁）

ここで10分間休憩いたします。

午前11時10分 休憩

---

午前11時19分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎秘書・総合政策課長（望月裕三）

河野委員の質問にお答えします。ホームページのリニューアルの目玉ということですが、今回は大きい中には、1つはホームページのサーバーの更新、これは耐用年数が来て5年経過して更新するという部分と、トップページを更新するというのがあります。これは現在、ホームページの階層が複雑化したりして、非常に検索がしづらいつらいつらとか、見づらいつらいつらという意見が出ておりますので、情報を整理し改めていきたい、そういうふうに考えております。以上です。

**○委員（河野 巧）**

続いて、26番、大学生等生活応援事業ということで、小包を送っていただけるという事業なのでしょう。実際、大学生等ということなので専門学校くらいまで含んだのかなと思うのですが、何名ほど想定されてるかということ、住民票を白杵に置いている人と置いてない人もあると思うし、選択する基準がどうしていくのか分からないので教えてもらいたいのと、結果、事務量が相当数になるのではないかという心配があって、544万のうち事務費が幾らぐらいあるのか、実際その送る費用が全部含んで5,000円の2回なら1万円なので544人分なのかとか、その辺の説明をお願いします。

**◎秘書・総合政策課長（望月裕三）**

河野委員の質問にお答えします。白杵市大学生等生活応援事業であります。今回新規の事業でございます。概要につきましては、1箱5,000円の費用で計算させていただいているのですが、まず対象の人数、市内高校を卒業した大学生については、新1年生から4年生まで大体500名程度の想定をしております。また市外の高校を卒業した白杵の出身者については、現在のところ44名程度ということ想定して試算をしていますが、1箱あたり5,000円の費用にかけて、また、年2回実施をすることとしておりまして、この1箱の中に、要は事業者をお願いをする送料や事務経費等を入れているということで、実際には、それらを差し引いた費用が実際の贈物の単価になろうかと、3,000円くらいかなというところで試算をしているところです。当然白杵のものを送るということで、地物のセットを作ることができる市内事業者をお願いができればということで現在計画をしているところであります。以上です

**○委員（河野 巧）**

担当課とすれば、なんとか市外に流出した方を呼び戻したいという思いは十分分かるのですが、実際、既に働いている方もいらっしゃる、大学生等にこういったものを送る必要性を見ても、予算的に考えるところがあるのですけれども、実際5,000円かかるのですけれども、内容的には3,000円分ぐらいの商品が行くような形で2,000円が事務費として計上されるだろうという予算立てというのは今の説明で分かりました。住民票については、特に問題ないということによかったでしょうか。

**◎秘書・総合政策課長（望月裕三）**

河野委員の質問にお答えします。住民票に関しましては、特に市外の方でも市内の高校を卒業した方等、縁がある方であれば対象にしているというものであります。また、先ほどお答えが漏れていたのですが、専門学校の学生さん、そういう方も含んでいるということで、事業の組立を考えております。以上です。

**○委員長（匹田 郁）**

ほかにございませんか。

**○委員（匹田久美子）**

歳出の16番の電算システム使用料についてです。右の説明のところに詳しく書いてくださ

っているので、中身は分かりやすいのですが、真ん中からちょっと下のところに、A I 利用料 112万2,000円が載っていますけど、具体的にどのような活用しているのか教えてください。

◎総務課参事兼DX推進室長（江川 徹）

匹田久美子委員の質問にお答えします。A I の活用は、今現在は、会議録の要約とか、新しい文書を送るときにそれぞれの方に合わせた文書にしようということと、会議資料の添削などに使っております。以上でございます。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませつか。

○委員（広田精治）

もう1点だけお願いします。歳出ナンバー45番です。防災対策事業として、2,200万円余りありますけれども、ここに備蓄品とか消耗品と並んで原材料100万円があって、その内容が生コンと手すりになっているから、気がついたのですけれども、同じ市道の改修とか補償工事とかありますけれども、そういう予算と区別して防災対策事業費としてするというのは、つまり手すりをつけたりガードレールをつけたり、つまり落ちて人命に影響が出るだろうというふうなものをこの予算に入れていくことなのですか。

◎防災危機管理課長（目原康弘）

広田委員の質問にお答えします。この原材料の支給といいますのが、まず避難路の整備ということで、原材料としての生コンとか手すりの設置、そういったものに使うような費用となっております。

○委員（広田精治）

そうしますと単純に手すりをつけるとかガードレールをつけるとか、人が落ちないようにとかだけではなくて、こういうふうな振り分けをする。その振り分けの基準は、何なのか、どういうことか教えてほしいです。いろいろ相談があるのですよね。人が落ちそうになっているとかいう話も結構あちこちであるのです。

もちろん建設課のほうで白と赤のくいを打って、ここはちゃんとしないといかんとしているところもありますけれども、そうされてないところもあって、住民からの要求が大きいから、そのところにはどんなふうにして対応しているのか、そこを知りたいです。

◎防災危機管理課長（目原康弘）

広田委員のご質問にお答えします。この避難路といいますのが、地区で避難場所に行くための避難路として指定している箇所です。そういったところを整備するための原材料費というふうに位置づけております。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませつか。

○委員（河野 巧）

もう1件、18ページの37番、地域力創生課所管の保育園留学運営業務委託料ということで、市外から白杵市に興味を持ってもらっている方が来た時に保育園に払う委託料だと思うのですが、そもそも今、保育園、こども園のほうは無料で白杵市民は預けることができると思うのですが、そういった無料ではない、今まで固定費としてかかった部分もこの事業に組み込まれるのでしょうか。

◎地域力創生課長（藤本健次）

河野委員のご質問にお答えいたします。おっしゃるとおり、市の一時預かりの制度を利用しておりますので、市内の方については無料ですが、対象としているのは市外県外の方ですので、経費は有料ということです。

○委員（河野 巧）

ですので、預ける人は負担が幾らかかってくるという計算でよかったですでしょうか、お願いします。

◎地域力創生課長（藤本健次）

休憩をお願いします。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午前11時29分 休憩

---

午前11時30分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎地域力創生課長（藤本健次）

河野委員のご質問にお答えいたします。利用料は、この一時預かり事業については、未就園児が対象で、1,600円から2,000円という事業費がかかるようにしております。それが保護者の負担になろうかと思えます。以上です。

○委員（河野 巧）

私、実際この中に全部含まれているものだと思って、利用する方は無料で利用できるのかなと思ったものですから、一応預けるにあたっては、市内の人が負担しているのであろう金額については、滞在する方の保護者にも負担してもらおうという理解でよろしいということによかったですでしょうか。もう一度だけお願いします。

◎地域力創生課長（藤本健次）

河野委員のご質問にお答えいたします。おっしゃられるとおりです。この事業費とは別で保

護者負担があります。

○委員長（匹田 郁）

ほかにごぎいませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で総務企画関係の議案質疑を終わります。

ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前 11 時 31 分 休憩

---

午前 11 時 33 分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、市民関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎政策監（柴田 監）

市民関係の4課が所管する令和8年度当初予算の説明に入らせていただきます。

説明については、市民課から順番に、主要事業、それから新規事業を中心に絞って着座にて説明させていただきます。

◎市民課長（齋藤正雄）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎税務課長（尾本 浩）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎環境課長（麻生幸誠）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎部落差別解消推進・人権啓発課長（寺本政浩）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

21ページ、歳出ナンバー1、市民課のマイナンバーコールセンター設置実証実験ということなのですが、設置実証実験なので単年度で終わるのかということと、もう外部に委託する予定で、国のほうもそういう基準でやられているのかという説明をお願いします。

◎市民課長（齋藤正雄）

河野委員のご質問にお答えいたします。この分についてなんですけれども、基本的に電話のお問合せがお客さんから結構ありまして、職員がそのために作業の中断とか、そういったものが多くございます。この部分について、外部の業者に一括してコールを受けてもらうような形ができれば、職員が集中して事務とあと窓口の接客、そちらのほうを対応できるというふうに予定をしております。

実際は初めての事業でもございますので、来年度の状況を見て検討させていただきながら、今後、翌年のことも考えていきたいと思っております。以上です。

○委員（河野 巧）

よその自治体も多分苦勞されることなので、こういった制度が国からおりてきているのかなと思うんですけれども、そうなると、もう固定したところ、要はもう、いろいろこういうコールセンターというと、国がここをお願いしますとか、そういうのが既に決まっているのか、入札的なもので決めていくのか、その辺お願いします。

◎市民課長（齋藤正雄）

河野委員のご質問にお答えいたします。今回のコールセンターの実証実験についてですけれども、これは、国がそういう積極的なメニューで提示をしているとかそういうものではございません。各自治体が、これから毎年そういう申請者が増加していく中で、どういうふうに職員の負担を減らそう、それから窓口のお客様の滞在時間をどういうふうに短くできるかということを検討しながら、各自治体独自に頭を悩ませている状況でございます。以上です。

○委員長（匹田 郁）

よろしいですか。

○委員（河野 巧）

マイナンバーコールセンターで特殊な詳しい人が受付をされるのではないかなと思うのですが、電話交換とかも外注なので、何かそういうコールセンターみたいなものが一括して頼めると料金的に安くなるのか、そういうのが庁内で検討されたかどうかと思っております。要するに今電話業務を外注してると思っていますので、そういったものをトータルで一緒に検討されてはなかったのかなと思います。

◎政策監（安東信二）

河野委員のご質問にお答えいたします。市役所の全ての業務をコールセンターに一括で頼めれば、という検討されているかというご質問かと思っておりますけれども、全ての業務、職員の負担を減らすために一括したトータルなコールセンターを設置するという検討は行っておりません。以上です。

○委員（広田精治）

2点だけお願いします。まず歳入の2、3、4、それぞれ調定額に乗じた徴収率を教えてください。ただきたいのが1点。まずそこからお願いします。

◎税務課長（尾本 浩）

広田委員のご質問にお答えをしたいと思います、この徴収率の質問ですが、何年度の徴収率をお答えすればよろしいでしょうか。

○委員（広田精治）

今度の予算の計上に当たって乗じた率を。

◎税務課長（尾本 浩）

広田委員のご質問にお答えいたします。当初予算の要求に当たり使った徴収率でございますが、市民税の所得割が99.10。市民税の所得、均等割が同じく99.10。市民税法人税割が徴収率99.58でございます。以上です。

○委員（広田精治）

もう1点だけですけど、部落差別解消推進・人権啓発課の関係で、ここに主な施策として載ってないやつを聞きますけど、1つは、解放新聞、あるいは、部落解放の購入費は幾ら見積もって計算されていますか、来年度予算。

◎部落差別解消推進・人権啓発課長（寺本政浩）

広田委員の質問にお答えします。雑誌部落解放につきましては、研修資料として、63万4,000円を計上しております。新聞のほうについては計上しておりません。

○委員（広田精治）

もう1点、同和団体が実行委員会に名を連ねている研修会、年間かなりの数があります。研修会だけじゃなくて、講座とか勉強会みたいなものあれば、それについての参加費と旅費、今年度幾ら見積もっているか、今分かればお願いします。分からなければ後で。

◎部落差別解消推進・人権啓発課長（寺本政浩）

広田委員のご質問にお答えします。運動団体という認識でよろしいでしょうか。運動団体に関する研修等につきましては、実行委員会等に名前が計上しているものにつきましては6つございます。それぞれにつきましては、後ほど回答させていただきます。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で、市民関係の議案質疑を終わります。

ご苦労さまでした。これより休憩に入ります。

再開は13時とします。

午前11時59分 休憩

---

午後0時57分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

先ほどの広田委員の質問に対し、部落差別解消推進・人権啓発課の寺本課長より答弁があります。

◎部落差別解消推進・人権啓発課長（寺本政浩）

先ほど広田委員よりご質問がありました旅費と負担金につきましては、旅費が724,140円、負担金は193,500円でございます。以上です。

○委員長（匹田 郁）

次に、福祉保健関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎政策監（柴田 監）

福祉保健関係の4課が所管する令和8年度当初予算の説明に入らせていただきます。

項目が多いので主要事業、新規事業に絞って歳出を中心に説明をさせていただきます。

◎保険健康課長（川辺みさご）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎高齢者支援課長（安藤隆文）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎子ども子育て課長（竹尾幸三）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎福祉課長（大戸敏雄）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

29ページ、47番、白杵社会福祉協議会の補助金ですけれども、市からの委託業務も増えているのではないかなと思っているのですけれども、人数的には、上限採用の方というのは、前回と比べて予算額に幅はあったのですかね。増えているとか、職員の数が増えたとか減ったとかいうのは、そのへんをお願いします。

◎福祉課長（大戸敏雄）

河野委員の質問にお答えいたします。社協の職員さんの退職入職等がございますが、ほぼ同じ人数で推移しております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（河野 巧）

続いて51番、就労継続支援の給付費ですけれども、現在何名ぐらいがご利用されているの

でしょうか。施設が1事業所ですか、幾つかあるのか、その辺もお願いします。

◎福祉課長（大戸敏雄）

休憩をお願いします。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午後1時24分 休憩

---

午後1時24分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎福祉課長（大戸敏雄）

河野委員の質問にお答えいたします。人数につきましては新年度につきましては214名を予定しております。施設につきましては大変申し訳ありません。市内市外、多くの事業所等の給付がございますので、今、手持ちがございますので、後でまた説明をさせていただきます。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で福祉保健関係の議案質疑を終わります。

ご苦勞さまでした。暫時休憩いたします。

午後1時25分 休憩

---

午後1時26分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、インフラ関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎建設課長（小坂郡師）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎水道事業所長併上下水道課長（村上 和）

（ 令和 8 年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で、説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

3 2 ページ、歳出ナンバー 6 番、白杵駅前舗装補修工事費、4 7 5 万円で、前回説明のあったガタガタになっているところを、アスファルトをやりかえるっていうものですが、白杵市のみですか。JRさんの負担もあったのですか、お願いします。

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

河野委員のご質問にお答えいたします。今回の舗装の修繕については、白杵市での負担ということで行います。

○委員（河野 巧）

あそこ、ご存じの方多いと思うのですが、JRさんの土地の部分じゃないかなと思ひまして、それを市が予算かけてしないといけないというのは、交渉でそうなったのですか。それとも、多分固定費として税制上の優遇も受けているのではないかなと思いますので、その辺の話合いはどうなってますでしょうかお願いします。

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

河野委員のご質問にお答えいたします。ロータリー部分の造成工事については、昭和 5 9 年に実施をされていると把握をしております。駅前広場ですね。そのときに協定を締結しております。造成工事の費用は白杵市負担ということと、保守工事と維持工事について、原則白杵市負担という締結がされております。これに基づいて、今回、安全に通行できる整備を行うというものであります。

○委員（河野 巧）

担当外かもしれないですけど、その税制的なのは免税になっていたのですかね、土地的には。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午後 1 時 5 5 分 休憩

---

午後 1 時 5 5 分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

河野委員のご質問ですけれども、ロータリー一部の用地ということ。土地の部分だと思いますけれども、今ここで把握しておりませんので、確認をさせていただきたいと思います。

○委員長（匹田 郁）

後ほど回答するという事でよろしいですか。ほかにございせんか。

○委員（河野 巧）

同じく7番、八町大路の復興支援事業ということで、ポケットパーク整備だったか共存ゾーンだったか覚えてないのですが、用地の購入を予算内に含んでいるという話だったのですけれども、規模的にはこの比率、金額のどれぐらいが用地購入費に充てられますでしょうかお願いします。

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

河野委員のご質問にお答えいたします。まず、用地を購入予定している部分といたしましては、ポケットパークの整備を予定しているところについて、まず約100平米ほどの用地、金額で550万円です。

それから、商住共存ゾーン、店舗等の出店等を期待する地域でありますけれども、ここについての用地費分は、4,450万円を計上しております。

○委員（河野 巧）

こちらは、ポケットパークのほうは100平米ぐらいということで、ゾーンのほうは何平米ぐらいかお願いします。

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

失礼いたしました。河野委員のご質問にお答えいたします。商住共存ゾーンの面積といたしましては約810平方メートルです。

○委員（奥田富美子）

同じところですけど、ポケットパークのところと、そもそもご自宅や店舗をその前の場所に建てられる方を除くと、先ほど土地全部購入したら空いているところはないのですかね。全部買ったらいいのではないかと思うのですが、どれだけ整備されるようになるのでしょうか。

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

奥田委員のご質問にお答えいたします。購入を予定しておるところにつきましては、再建のめどと土地利用の見込みというのがないというところの用地について、検討しております。

今、明確に再建の整備を進めているという方につきましては、約540平方メートルの土地については、もう再築を予定している方がおります。以上であります。

○委員（奥田富美子）

以上の説明で、その中で残る場所はないのですよね、とお伺いしたいです。

すっきり建てられる方と空いているところは市が対応するという事で良いでしょうか。

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

奥田委員のご質問にお答えいたします。今申し上げたところが予定されているところでありまして、再建予定と購入を予定しているところ以外は空いているところはない計画で予定をしております。

○委員（川辺 隆）

今の説明を聞いてよく分かるのですが、購入して整備をする時に、行政としてはこの区画整理もしくは区画の割合を調整して、購入しているのか現況のまま今の計画をしているのかだけ教えてください。

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

川辺委員のご質問お答えします。土地の購入については、基本的には更地の購入を想定しております。この土地利用については、商住共存ゾーンということで、詳細な事業計画について今ワーキンググループを設置して検討して、民間の活用であるとか、官民連携できる活用はあるか、まだ明確に、今後決定をしますけれども、まずその状況も確認をしながら、土地としては公有化をして、計画が決まって、いろいろな事業を実施する際にスピード感を持って実施ができるようにということでの目的であります。それと区画整理をするかどうか、基本的には区画整理は想定をしておりますが、事業計画を検討する中で土地の再編等が必要な部分については、再編もできるような可能性もありますので、そういう意味で公有化するのでありますけれども、まだ今のところ、区画整理をするというところまでは、検討はされておられません。以上です。

○委員（川辺 隆）

これだけの公費を使って、注目されている事業を行おうとしていて、ポケットパークもそうですし、商住共存ゾーンもそうなのですが、行政主導で行うのであれば、そもそも論、整理をした後に行わないと、委員が質問していることは、そういうことじゃあないですか。

歯抜けのゾーンでやるのか、きっちり分けてからやりますよ、というのだったら、出来上がったものが違うので、そのところは都市デザイン課のほうでしっかり検討されて、この地区の開発に携わるようお願いして質問を終わります。

○委員長（匹田 郁）

川辺委員、要望でいいですか。

○委員（川辺 隆）

要望ではありません。質問した後に、こういうふうには計画がないとおっしゃったので、それは悪いけど、今の委員の質問からしたときには成り立ちません。

多分お分かりですよ、言っていること。計画の問題です。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午後2時03分 休憩

---

午後2時04分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

川辺委員のご質問の件について、まず区画を整備する計画ですが、まず再建を予定されている方が、土地を使う際の真ん中のほうにいらっしゃったということもありまして、全体で区画整理をするような事業というのはなかなか見込みが立ちませんでした。そういった中で、スピード感を持って復興につなげるということで、更地のままでありますと、利用の見込み、また再建の予定もないままで、低未利用地のままになってしまいますので、具体的な計画につきましては、今このワーキンググループで事業進出の可能性であるとか、いろいろな利用方法を検討しております。その検討を進めるのと並行して、用地の確保もあわせて検討していくことで、事業が検討されて計画をつくった後のスピード感を持った実施ということで即座に実施をしまいたいという目的で、用地の確保も並行をして実施をしていくというところで計上をしております。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（芝田英範）

33ページ、歳出20番、建設課。熊迫線の改良ですけど、多分10年ぶりに取りかかると思うのですけれど、今虫食い状態になっているが、用地購入費が上がっているけど、どこから行くんですか。上のところから行くのか、防火用水の先に行くのかお答えください。

◎建設課長（小坂郡師）

芝田委員の質問にお答えします。来年度施行を予定しているところは、田野小学校のところから真っすぐ行って突き当たって左に曲がる所あります。左に曲がってすぐ、右側に熊迫公民館がある、ちょうど角のところですよ。以前、まだ用地が買えてなかったところ、そこから、来年度着手する予定にしております。以上であります。

○委員（芝田英範）

はい分かりました。あそこですね。

それともう1件、赤嶺線はもう8年度でつながるのかな。

◎建設課長（小坂郡師）

芝田委員の質問にお答えします。赤嶺線ですけど、集落があるところについて今工事を行っております。山を切る分が土砂の搬出が多いのと、道路改良した分と現道とのすりつけの舗装も残りますので、もう少しあと4、5年ぐらいで全線終わるような感じになっております。以

上であります。

**○委員（芝田英範）**

スピード感を持ってよろしく願います。

**○委員（河野 巧）**

同じく33ページの15番、地籍調査の部分ですけれども、なかなか毎年大変だと思うのですけれども、令和8年度の予算で進捗状況はどれぐらいになりますでしょうか、願います。

**◎建設課長（小坂郡師）**

河野委員の質問にお答えします。地籍調査ですが、旧野津町のほうが先行してしまっていて、旧野津町のほうで全体の約20%、旧白杵のほうにつきまちは10%、白杵市全体としては15%ぐらいの進捗率です。以上であります。

**○委員（河野 巧）**

なかなか白杵地域の方が後からということで、遅いので、できたら白杵のほうが多く予算組まれるかなと思ったのですが、やっぱり野津地域のほうが、予算が結構かかるような広いイメージで予算を取られたのでしょうか。願います。

**◎建設課長（小坂郡師）**

河野委員の質問にお答えします。予算につきまちは、それぞれ大字区域ごとに調査を行っております。約3年で1地区の成果として上がってきますので、それがまだ3年の最終とかではないので、野津地区、白杵地区で野津が多くなったとか、白杵が多くなったとかではなくて、それぞれの工程の中で予算をとっております。以上であります。

**○委員（梅田徳男）**

16番の漁港施設補修工事の中で、下ノ江港の管理用地の舗装を行う予定があるという説明がありました。1年で全部終わってしまいますか。

**◎建設課長（小坂郡師）**

梅田委員の質問にお答えします。下ノ江港管理用地の舗装の予定ですけど、今のところは3か年で予定しております。以上であります。

**○委員長（匹田 郁）**

ほかにごぎいせんか

（ 「なし」の声 ）

**○委員長（匹田 郁）**

以上で、インフラ関係の議案質疑を終わります。

ご苦労さまでした。ここで10分間休憩いたします。

午後2時10分 休憩

---

午後2時18分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に移る前に、先ほど河野委員からの質問に対し大戸課長の答弁を求めます。

◎福祉課長（大戸敏雄）

先ほどの河野委員の質問にお答えいたします。就労継続支援B型事業所の数ということでございます。市内の事業所数で5事業所、市外の事業所で54事業所に対して報酬をお支払いしているというところでございます。以上です。

○委員長（匹田 郁）

次に、産業関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎政策監（姫野敬一）

令和8年度一般会計当初予算の産業部門関係につきまして、各担当課よりご説明申し上げます。よろしくお願いいたします。

◎産業観光課長（山木哲男）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎政策監（姫野敬一）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で、説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（奥田富美子）

2つお願いします。最初は歳出26です。観光振興事業委託料のところですが、説明のところに観光ガイドの育成というふうにあるのですが、今まで町並みガイドは聞いたことあるのですが、観光ガイドというのがあったかなと思って、どこの観光ガイドができるように育成するのか教えてください。その育成も、どこかに委託するという読み取りでよろしいでしょうか、お願いします。

◎産業観光課長（山木哲男）

奥田委員のご質問にお答えいたします。観光ガイドにつきましては、白杵祈りの回廊のガイドさん、今観光協会で育成しまして、そちらのほうをよりスキルアップするような形の経費で計上をさせていただいております。

そのほかにも祈りの回廊のほか、新たなガイドの育成についても、その可能性についても探っていきたいと考えております。こちらの育成につきましては、委託先として白杵市観光協会を想定しております。

○委員（奥田富美子）

もう1件、歳出28ですが、観光客の誘致促進事業のところですけど、この観光ツアー誘致商談会への参加に係る委託料ということで、本来なら観光課職員が行かれると1番いいのでし

ようけれど、それに行かないので、どこかの団体に委託するというのでしょうか。これも観光協会ですかという質問です。

**◎産業観光課長（山木哲男）**

奥田委員のご質問にお答えいたします。こちらの観光客の誘致促進事業については、内容的には、例えば関西、関東、福岡方面、また、ツーリズム大分が行う商談会等に行くような形を想定しております。USUKIベニューやユネスコ創造都市のいろんな事業項目、商品が来てきておりますので、そちらを観光協会のほうに委託することを想定しております。以上です。

**○委員（川辺 隆）**

これ1点だけ教えていただきたいのですが、歳出ナンバーの47とか49に当たるのですが、白杵市の農業5品目、ピーマン、カンショ、イチゴ、ニラ、ネギとか推奨品目等に、白杵市を代表するカボスが入ってないのですけれども、これはなぜカボスが入らないのですか。

**◎農林振興課課長代理（芦刈正文）**

川辺委員のご質問にお答えします。まず、この47、49の事業に関しては、カボスについては、次代をつなぐの中にはカボスは実は入っております。次代をつなぐ中には、既に白杵乙見地区で企業されている法人さんが、今年補助事業を使いまして乗用機を購入する予定になっています。ただ、こちらのスペースの関係でそれが載ってないというだけでありますので、これらの推進品目の中にカボスも一応入っているのは行っております。

カボスは、主要5品目の中には入っていないのですが、白杵市の農業基本計画、その中におきましては、カボスは白杵市が推奨する品目としては取り扱っておりますので、補助事業の対象にもなります。

**○委員（川辺 隆）**

僕もそういうふうに聞いています。ただ、必ずと言っていいほど農業5品目とかから外れてくるのですけれども、業界そのものからは、今カボスの生産者が高齢化を迎えて、次の若い世代の方々がこの白杵市でもカボスの生産に取り組んで新規参入されている方がおります。

そういう方面から見たときに、この農業5品目の中で正式にカボスを入れてくれという声があるのではないのですか。

**◎農林振興課課長代理（芦刈正文）**

川辺委員の質問にお答えします。実際カボスのほうは、白杵市農業振興会議というのが農業振興のほうでありまして、今年2月にその会議を開いたのですが、その中でカボス等も白杵の推進品目として扱えないだろうかということで、今話が出ております。

また、カボスを入れるとなりましたら、農協の部会とか生産者とか、あとカボスになると、大分県カボス振興協議会等の関係もありますので、基本的には前向きに話をしていきたいと思うのですけれども、まだ実際のこの5品目を例えば6品目という形になることに関しては、慎重に協議を進めていきたいと考えております。以上です。

**○委員（梅田徳男）**

漁業振興についてです。余り聞きたくはないのですが、何点か質問させてください。  
出荷奨励金はこのままの流れでいくと、何月ぐらいから適用になるのですか。

**◎産業観光課長（山木哲男）**

梅田委員のご質問にお答えします。出荷奨励金については、4月1日から12月31日までを期間として想定しております。その期間に卸売店で出荷されたところが対象とするように事業のほうを計画しております。

**○委員（梅田徳男）**

今のこの3月末の決定で、4月1日からの適用が可能だという準備を進めておられるということですね。

**◎産業観光課長（山木哲男）**

梅田委員のご質問にお答えします。言われるとおり準備のほうを今進めさせていただいております。

**○委員（梅田徳男）**

であれば、4月から適用を始めて、この効果が出るだろうという予測は、いつ頃を予測されているのですか。

**◎産業観光課長（山木哲男）**

梅田委員のご質問にお答えいたします。今こちらのほうの事業を計画する中で、白杵漁協さんに情報をいただいて、昨年度ベースプラスアルファの予算を計上しております。ですので、実際に今年のものと同様令和8年度のもの、こちらのほうの実際の売上高、白杵魚市場の競り市に卸した金額というのは、数字として現れますので、その比較ができるものと考えております。それで実際にこの出荷奨励金の事業効果がはかれると考えております。

**○委員（梅田徳男）**

効果として反映する内容については分かるのですが、目的も分かるのですが、いつ頃から効果が出そうだという予測をされているのですかね。

**◎産業観光課長（山木哲男）**

梅田委員のご質問にお答えいたします。一般質問のときもお答えしたのですが、今回の事業は新規事業で我々も事業効果がまだはっきり言えないような状況でございます。

ただ、こちらを進める上で、漁協のほうにご説明をいただきまして、当然漁業者の方々、また、実際に卸売に来られる方とか、多くの方にこちらの事業を知っていただいて、その上で白杵の魚市場に卸していただけるよう、PR活動を行って、実際、白杵の魚市場の卸す量を増加させたいと考えているところでございます。以上です。

**○委員（梅田徳男）**

山木課長のおっしゃられることだから、恐らく計画的にいろんなことを考えながら、こんなことをやれば、これぐらいから効果が出始めるだろうということも考えつつ、事業を進めてい

るのだろうと思いながら、今質問をさせていただきました。新しい事業ですので、効果が出るか出ないかも含めて様子を見ないといけない部分もあるのですけれども、やっぱり事業として始めた以上は、しっかり効果を得られるようにご努力をいただきたいと思うのですが、それとも一つ。放流事業をされるということで予算が計上されていますけれども、去年の3月定例会ですか、漁業振興の全体の話聞く中で、放流事業については、追跡調査を行っていないというふうに伺いました。今回、今年度来年度は追跡事業をやるのだということ伺ったのですけれども、追跡をされていない中で、放流魚種はどういうふうな検討で決定をしたのですか。

#### ◎産業観光課参事監（安東昌文）

梅田委員のご質問にお答えいたします。一般質問の中で少し触れさせていただいたのですが、放流事業はこれまで長年継続して取り組んでおりました。そういった中で業者の方からなかなか効果が見えてないというご意見もいただきまして、昨年、漁協のほうとその辺について協議を重ねてまいりまして、まず、昨年行ったのがクルマエビの放流のときに、クルマエビの尻尾の一部をカットして放流しました。そのカットしたものが漁獲したときに分かりますので、目印として。それで、漁業者の方が、そういったのを漁獲したときに漁協のほうにこのぐらい取れました。また、周辺の津久見とか佐賀関の漁協にも同じような通知をして、そういったのが取れたときに、どのくらい取れましたかということで、初めての取組なんですけど、今回そういった効果を初めて検証するようになっております。今年度そういった数字を集約できてまいりますので、その結果を改めて、市と漁協それから漁業振興コンサルタント、そういった方と中身を共有しまして、どのくらい実際の効果が上がっているか、上がってなければ、さらに放流時期が良いのかとか保留場所がどうなのかとか、そういった対策を引き続き協議してまいりたいと思っております。

#### ○委員（梅田徳男）

はい、ありがとうございます。放流というのは本当に大切なことなので、しっかり、どういう形で成長していくかということの確認も含めて対応をお願いしたいと思います。

もう1点、5番の漁業担い手育成交付金という項目で、1人に対して何年間の補助をするということだったですか。

#### ◎産業観光課長（山木哲男）

梅田委員のご質問にお答えいたします。漁業担い手育成交付金につきましては、事業として三本柱がありまして、定住支援事業、就業奨励金、定着支援事業でございます。

今、1番目の定住支援事業につきましては2年間、定着支援事業についてはこちらも2年間、就業奨励金については1回というような形で、それが1年間で174万円というような予算計上でございます。

#### ○委員（梅田徳男）

2年ですよね。いや、先ほどの農業政策の中で、同じような内容で5年支給をするのだという話があったような記憶はあるのですが、中身は全く違うのですか。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午後2時59分 休憩

---

午後2時59分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎政策監（姫野敬一）

梅田委員の質問にお答えいたします。歳出ナンバー45の青年就農給付金事業につきましては、認定新規就農者が対象となりますが、内容が経営の確立と安定化を目的に、就農から最長5年するというもので、新たに作るものではないので、その辺が漁業とは違ってくるという形になる感じになります。

○委員（梅田徳男）

要するに漁業者なり農業者の生活支援というところでの違いは、事業の安定化なり就労、漁業なんか特に慣れていただく、事業としてやることをしっかり自分で身に付けていただく、そういうところが根本的なところも違うということなのですか、2年と5年というのは。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午後3時00分 休憩

---

午後3時01分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎産業観光課長（山木哲男）

梅田委員のご質問にお答えします。まず、漁業の担い手育成交付金につきましては、就業段階の初期段階から、まず円滑に行っていただくために、今回2年間というふうな形にさせていただいております。この事業につきましては、県内の市町村では単独にこのような給付金事業等を設けているというのは、本市だけと認識しております。他市は県の事業に基づいて、加算される場所もありますけれども、このような事業を設けるのは、うちだけと。

これを作るにあたっては、他市、ほかの県の事業を参考にさせていただきながら、2年間とし、事業をさせていただいているところでございます。以上でございます。

**○委員（梅田徳男）**

2年と5年のこの差がよく分からない部分がある。いわゆる生活をしっかり支える部分としての助成であれば、そういう違いがあってもいいのかな、というふうに思ったところです。

最後にもう1点、今年度の予算で、若手の漁業者に対して、漁具の補助なんかやりましたですね。今回、来年度予算にはそれはもう計上してはないのですね。

**◎産業観光課長（山木哲男）**

梅田委員のご質問にお答えいたします。漁具の支援につきましては、今年度は計上させていただいておりません。こちらのほうは7年度の6月補正で、漁具のほうを支援させていただいたのですが、実際に支援の内容を見ると、漁具ですので、ウエットスーツとか含めて、比較的、皆さん漁業の種類とかそういうのが違いますので、様々出てきたのですが、基本的に1回使っても経年で使えるということもありましたので、少なくとも今年に関しては、1年あける形で、8年度は予算計上してないという状況でございます。

**○委員（奥田富美子）**

歳出の2番、竹宵の記念事業のところですか。1,000万円で、30周年に力を入れているのだなというのがよく分かりますが、この1,000万円のうちのおよそ半分が、地元ゆかりのアーティストの事業ということで、今もう予定されているところがあるのか、何か様子を教えてください。

**◎産業観光課長（山木哲男）**

奥田委員のご質問にお答えします。白杵竹宵記念事業については、先ほどご説明させていただいたとおり、記念コンサートを開催するというふうな事業を今、進めさせていただいております。竹宵実行委員会の中で、日々協議のほうを進めていただいているところでございますけれども、まだ実際にアーティスト等々、見積りとか出演してくれるのかというところを、調整している段階でございますので、まだ決まっておきませんので、まだこちらの予算委員会で、申し上げることができません。以上でございます。

**○委員（河野 巧）**

39ページの歳出ナンバー10番、創業支援事業ということで、セミナーの会社であったり創業者のフォローアップをされるという予算なんですけど、観光課もやっていたと思うのですが、できればこういうのは会議所さんと提携したりとか一緒にできるといいのかなと思うのですが、その辺は事前に話し合ったりとか、今後そういうタイアップをしていく計画していますでしょうか。お願いします。

**◎産業観光課長参事監（安東昌文）**

河野委員のご質問にお答えいたします。創業支援事業ですが、今おっしゃられたように毎年、白杵市のほうで年2回開催しております。その際には、毎回商工会議所の経営指導員の方も出席されています。そういった中で、1回のセミナーで4回ほど開催するのですが、そういった中で実際実行される方、新規創業を希望される方と、会議所の方とのそういったお話とかで

きる場がありますので、そういったところで創業者と会議所がつながりますので、その辺は引き続き行ってまいりたいと考えております。

#### ○委員（河野 巧）

なかなか市の職員の方も仕事が多くて、手いっぱいになってくると思いますし、外に委託できるようなところがあれば、そういったところに委託していてもいいのかなと思って質問させていただきました。

続きまして39ページの13番、中心市街地活性化事業補助金ということで、まちづくり会社白杵が行う中心市街地活性化のためのにぎわい創出事業ということの補助金なのですが、どういったことをされるか、結構な予算なので、人件費を含んだものなのか、その事業費で750万円なのかご説明をお願いします。

#### ◎産業観光課長（山木哲男）

河野委員のご質問にお答えいたします。中心市街地活性化事業の事業内容につきましては、大きく分けまして4つございます。1つが中心市街地活性化事業として、火災からの復興に資するイベント、またサーラ・デ・うすきを活用した食イベント、多世代が参加できるゲームイベント等、イベント事業を中心に、こちらの予算が265万円という形で見込んでおります。次が人材育成事業に白杵まちづくり市民講座として、150万円。また物産振興事業として、サーラ・デ・うすきのほうで物産販売等をしているのですが、こちらのほっときんグッズとかの開発に20万円。文化芸術振興事業として、サーラ・デ・うすきで、国民文化祭のレガシー事業である囲碁教室とまちなかの絵画コンテスト開催費に65万円で、これらの事業をしていただく人件費として、今250万円を計上しており、これが計750万というような形で計上させていただいております。以上でございます。

#### ○委員（河野 巧）

秘書・総合政策課が行っている人材育成の新年度予算とか、新規の予算とかあったと思うのですが、白杵市が行う人材育成は、いろんなところで予算を取ってやっているんですけども、何か横の連携みたいなものが取れているのか、やはり課ごとにしたほうがいいのか、内部で検討されましたでしょうか。お願いします。

#### ◎産業観光課長（山木哲男）

河野委員のご質問にお答えいたします。今回、白杵まちづくり市民講座につきましては、昨年度でしたら中心市街地活性化に関する講演会と、また食文化のユネスコ食文化講演会とを中心にして開催いたしました。また講演内容等にもよって、その人材が重ならないかというところがございますが、しっかりこの情報発信をさせていただいて、多くの方にこちらの市民講座、また講演というふうな形になろうと思いますけれども、皆さんに来ていただいて白杵市内の人材の育成につながるよう、図っていきたいと考えております。以上でございます。

#### ○委員（匹田久美子）

歳出の25番です。観光施設整備事業が稲葉家下屋敷の塀の復旧と、空調整備事業と一緒に

予算に上げられているのですが、細かい金額まではいいのですが、その2つの事業がどのくらいの割合というか、幾らと幾らみたいな、切り分けが分かったら教えてください。

◎産業観光課長（山木哲男）

匹田久美子委員のご質問にお答えいたします。まず、御門堀復旧事業として、実施設計委託料が90万4,000円、監督委託料が79万円、復旧工事が250万1,000円となっております。下屋敷の冷暖房設備の更新につきましては、2,681万3,000円というような形で計上させていただいております。以上でございます。

○委員（匹田久美子）

エアコンの空調の設計委託と実際の事業費合わせたら、相当な金額に5,000万、6,000万とかになるので、かつランニングコストもかかりますよね。なので、しっかりと後々検証できるようにしていただきたいと思います。有効に使っていただきたいと思います。質問ではないです。

○委員（大塚州章）

歳出の8番、食文化の推進事業です。教えていただきたいのですが、白杵市内を含めて市民の皆さんに食文化を広めるために前回高校生の創作をやったと思います。こういうものを中心とした事業が、今年も何点かあるのか、白杵の市内に広める、意識を高める事業があるのか教えてください。

◎産業観光課長（山木哲男）

大塚委員のご質問にお答えいたします。昨年、高校生と連携して郷土料理グランプリを開催させていただきました。今年の3月もその料理を飲食店さんに出していただいております。来年度につきましても、民間の団体と一緒にイベントの活動ができるよう、予算のほうを400万円というような形で計上させていただいております。以上でございます。

○委員（大塚州章）

私が思っているのは、そういうふうに皆さん頑張っているのでも、例えば、ひやくすたと高校生を点と点を結ぶとか、線にしたり面にしたりするようなことをすれば、もっと食文化が浸透していくのではないかなと思いますので、その辺のところ何かまた創意工夫を、高校生たちにそういうふうなところを創作していただくと、また新たな案が出たりするかもしれないので、その辺はどうでしょうか。来年度とか、頑張っていたらと思いますが、よろしいですか。

◎産業観光課長（山木哲男）

大塚委員のご質問にお答えいたします。先ほどひやくすたの団体の話が出ていましたので、ひやくすたの皆さんとは、1月に白杵食文化映画祭というものをやっております。こちらのほうをひやくすたの方にも事業の構築段階から関わっていただいて、当日も一緒になって活動させていただきました。

食文化を、皆さんのシビックプライドを育てるためにも、事業をする上では、市民の多くの

団体の皆様に関わっていただけるような形で進めさせていただきたいと考えております。以上でございます。

#### ○委員（河野 巧）

43ページの歳出59番。未整備林整備促進事業ということで、森林環境税を使っていたら本当にありがたいところで、水源涵養も含めていると思うのですが、所有者がわからなかったりとか所有者の方がなかなか整備できなかったりとかいう部分を、市を挙げてやっていただけるのではないかなと思うのですが、どのあたりからスタートされるのか、場所のほうももし分かっていたら、お知らせください。

#### ◎農林振興課農林基盤整備室長（梶原弘記）

河野委員のご質問にお答えします。現在、森林環境譲与税を使って、7年が経過しております。現在、境界明確化、森林整備を手がけておまして、野津地域の水源涵養地域川登地区、ここについては、地籍調査が進んでおりますので、実際に森林整備ができてきております。それと中の川のほうで昨年、水源涵養地域として白杵市として指定をしておりますので、進めております。また、白杵川流域ということで、乙見地区を選定して手がけてきております。この7年間で約72ヘクタールを森林整備できております。以上であります。

#### ○委員（平川幸司）

さっきからずっと気になっていたのですが、安東参事監が言った、放流のエビの尻尾を切って確認をしようと言ったのですが、エビは脱皮をするのに尻尾はそのままなんですか。

#### ◎産業観光課参事監（安東昌文）

平川委員のご質問にお答えいたします。先ほど説明しました放流するときは、一部をカットします。放流後に漁師さんが漁獲されたものについて順次、報告いただいておりますので、それはやっぱり、今言われたように時間がたつごとに脱皮をして確認ができない部分も出てきますけど、放流して間もない期間に漁獲されたものについては、ある程度数字が把握できるんですけど、それはもう時間がたつとやっぱりそういった効果が確認できない部分も出てくると思っております。現段階ではそういった形で調査を行っています。

#### ○委員（川辺 隆）

本当に毎回、予算委員会のごときとか、今回55番に歳出があるのですが、必ず土づくりセンター、これ毎回僕意見言ってるのですが、ただ、経営的に見たら、使う人たちが使いたい堆肥を実際作っているのかという問題に関して、先般説明があったのは、実はもう他の市町村から買っている人たちもいる。それをどういうものを買っているのか調べたら、必要な栄養素、リン酸カリ、カルシウムを混ぜたものを、農業者の方々が白杵市の堆肥よりも高い値段で買ってるんですね。今回整備費用の中には900万円ぐらい上がっているのですが、それを考えたら、土づくりセンターの使う人たちのニーズに合った堆肥、要するに栄養素を加えたもの、それは調べると、実は佐伯市の業者さんは、カキ殻を単純に混ぜたものをつくって混ぜて攪拌したのを出してるだけなんですけど、それに対する整備費用、要するに攪拌施設とかの整

備費用も入ってるんですか。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午後3時20分 休憩

---

午後3時20分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎農林振興課有機農業推進室長（荒木 浩）

今回の施設整備費用の中には、カキ殻とか入れるようなものの費用は入っていません。実際のところ、うちのほうで聞いているのは、今、カキ殻と竹パウダーのほうを実際令和7年度でそういう例があるということで、実証的に、各有機農業の生産者の方に使っていただけませんかという形をお願いします。

ただ、その実証結果はまだ出ていないので、それを踏まえて、今後土づくりセンターにどういうふうを活用するかというのは、考えていきたいなと思っています。以上です。

○委員（川辺 隆）

この土づくりセンターで問題になるのは、確かに運営費の中の機械設備とかの費用を含めて、約7,000万円、8,000万円を毎年使うときは使っているんですよ。

しかしながら大きな問題は何かというと、生産量じゃなくて使用量が減ってきている。その原因が実は、使う人たちのニーズに合った、要するに堆肥、今作っている品物は大変すばらしいものを作っています。土が、ふかふかになって肥えていて、これは白杵ブランドとしては最高の品物なんですけれども、生産者、農業生産者に言わせたら、その中の栄養素の一部が足りない。必要なものが入ってないというのが、当初作られたときは、たばこ農家さんのニーズで使用がされてたものが今は時代がたって、野菜、果実、果物とかに移ってきた中で、どうしてもその声があったので、今後、この整備費用を計上するのであれば、この土づくりセンターの裏には、まだまだ広大な敷地が残っておりますので、そこも今後踏まえた意味での予算編成をしてはいかがと思いますが、その点についてお考えをお聞かせください。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午後3時23分 休憩

---

午後3時23分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎農林振興課有機農業推進室長（荒木 浩）

川辺委員の質問にお答えしたいと思います。今、確かに敷地のほうは、裏側のほうとか空いている土地があります。そういうところを、今後活用できれば、今の夢堆肥のほうも実際半年でしてる分を、また1年すると成分的なものも変わったりする場合もあります。

先ほど貝殻のものとも、いろいろ入れた場合というのは、実際にやってみないと分からないので、そういうところの実証的なものを含めて、そういう施設整備のほうを考えていきたいと考えております。

○委員（梅田徳男）

さっき漁具の助成について、令和8年度は考えていないということでお聞きしたのですが、資機材が今の燃料価格の上昇等で非常に高くなることが予想されます。漁業農業を問わず資機材の負担が多くなると思うのですが、これへの対応というのは、今の段階で検討すればお聞かせいただきたいし、あるいは補正等する考えがあれば、その辺の話をお伺いしたいのですが。

◎産業観光課長（山木哲男）

梅田委員のご質問にお答えいたします。当初予算の現段階におきましては、資機材の計上はしておりません。今後、経済情勢がまた変わるような状況がありましたら、またこちらのほうも検討させていただきたいと考えております。以上でございます。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で産業関係の議案質疑を終わります。

ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午後3時25分 休憩

---

午後3時29分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、契約検査課の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎契約検査課長（小野憲吾）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で契約検査課の議案質疑を終わります。

ご苦労さまでした。

休憩に入る前に、先ほど河野委員から質問があった件に関して、広瀬都市デザイン課長からの答弁がありますので、お聞きください。

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

河野委員よりご質問をいただきました、白杵駅前のロータリーの工事に関する件で、この土地について、ロータリー部分について今回の工事を含む部分も含めて、固定資産税の課税の特例措置はされていない、ということを確認いたしました。

○委員長（匹田 郁）

ご苦労さまでした。

休憩いたします。

午後3時34分 休憩

---

午後3時34分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、会計課の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎会計課長（瀧澤 愛）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で会計課の議案質疑を終わります。

ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午後3時35分 休憩

---

午後3時37分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、教育委員会事務局の議案についての質疑審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎教育委員会教育次長（佐藤忠久）

それでは、教育委員会事務局所管分につきましてご説明申し上げます。

事務局案件といたしまして、歳入が24件、歳出が35件、債務負担行為1件となっております。

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎学校教育課長（新名 敦）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎学校教育課参事（高田教一）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎社会教育課長（那賀啓史）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎文化・文化財課長（日高昌幸）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（甲斐 尊）

歳出の17番について説明を求めます。最初の17、学校給食の運営事業について、説明欄に書かれているとおり、私会計から公会計に変わることによって、何がどう変わるのかという部分を今日の概要を説明していただきたいのですが、近いうちにポンチ絵とかを作って、やっぱり比較して、それなりにメリットデメリットあると思うので、一定程度議会に説明する必要があるかと思いますが、今日の段階では説明できる範囲でよいので、口頭で説明をお願いいたします。

◎学校教育課参事（高田教一）

甲斐委員の質問にお答えします。給食費は、今までは学校給食センター運営委員会のほうで、保護者、先生から給食費の徴収をしておりましたが、子供たちの分が無償化になったことで、公会計のほうに移したいということが、まず最初でしたが、特には、資金の透明性を図ることを目的としていまして、今後交付金として国から無償化のお金が入るといってもありますの

で、交付金検査の段階でも市が持っているほうが説明しやすいという部分もありますので、そちらのほうに変更をしております。

また、ポンチ絵については、また分かりやすい内容を作って説明したいと思います。

#### ○委員（甲斐 尊）

ポンチ絵よろしくお願いたします。

それと、5番の西中ブロック小中一貫校整備基本構想基本計画策定業務委託料なのですが、これについて、2点ほど確認をさせていただきますが、小中一貫校の概念の中には、義務教育学校まで念頭に置いているのか、先ほど次長の説明の中で、私の把握が正しいかどうか分からないのですが、一貫校の基本構想の策定のみならず、プールと給食センターについても言及されたのですが、改めて確認なのですが、プールと給食センターのこともこの中の検討に含まれるのかどうか、お願いたします。

#### ◎教育委員会教育次長（佐藤忠久）

甲斐委員のご質問にお答えいたします。まず1点目に関しまして義務教育学校と一貫校のことだと思っております。今現在考えている一貫校のことで基本構想をつくっていこうというふうに考えているとございます。

あとそれともう1点の、この土地基本構想をつくるに当たって申し上げた学校給食センターとプールの関係でございますけれども、将来的にその土地が使えるかどうか、今個々の面積が3万平米弱2校合わせてございます。そうした部分をどうやって土地の有効利用や活用するかということを考えてときに、まだ全く分かりませんので、そうした視点も入れながら、土地の利活用ができるのではないかと、それも踏まえて検討していく必要があるのではないかと、ということで今回入れさせてもらっているということでございます。以上でございます。

#### ○委員（甲斐 尊）

ありがとうございます。この5番の検討に当たっては、あの地域だけに思考が停止するのではなくて、ちょっと西のほうにまだ高台がありますので、そこを含めて予断を持たずに幅広い検討をお願いしたいと思います。これは要望です。

#### ○委員（安東鉄男）

歳出の6番、お願いたします。屋内運動場を空調のエネルギーを、電気ではなくてLPガスということで、私も個人的な研究でもLPガスが、災害時、停電がないのでそちらがいいかなと思っていたのですが、決め手になったのは、費用面、そういった災害時に対応できるということも考えられますが、いかがでしょうか。

#### ◎教育委員会教育次長（佐藤忠久）

安東委員のご質問にお答えいたします。今回、燃料の関係がどうしてLPガスになったのかということでございますけれども、基本的にLPガスと電気、どちらを選択するのかということで、イニシャルコストまたランニングコストの経費の比較をさせていただきました。

それともう1点、避難場所になりますので、大災害が発生したときに72時間の停電になっ

たときに、どういうふうに空調を動かすのかということを考えてときに、電気の場合でありますと、どうしても発電機を設置しなければならない。発電機を設置するとなりますと、燃料の保管が必要になってくるということになり、有資格者が必要になるということが考えられます。ただ一方LPガスに関しましては、有資格者の必要がないというふうなこと、また、大分市におきましても災害拠点校ではLPガスの方式を導入しているというような、もろもろの観点から、今回の野津中に関しましては、LPガスを整備させていただく方向になったということでございます。以上であります。

**○委員（安東鉄男）**

災害時に強いふるさとづくりということで、ありがとうございます。そういった理由で他の中学校、小学校にもLPガスで進めるか、お尋ねします。

**◎教育委員会教育次長（佐藤忠久）**

安東委員のご質問にお答えいたします。ほかの小学校、中学校におきましては、災害時の避難場所になり得るのかどうかということが一つの観点になろうかと思っております。

そうしたことを踏まえたときに、避難所としてなり得ないのであればどちらの経費が安いのかと比較させていただいて、安いほうを導入していこうかなというふうに思っております。以上であります。

**○委員（安東鉄男）**

いずれにせよ、空調を稼働させる場合、費用が結構かかると思うので、ほかの公立の体育館だとか使用料とは別に冷暖房費というのを徴収するのですが、学校教育以外の例えば、何とかクラブだとかが使用する場合は空調費まで徴収するのかどうか、分かれば教えていただきたいと。

**◎教育委員会教育次長（佐藤忠久）**

安東委員のご質問にお答えいたします。現段階では決まっておられませんけれども、先進地視察に行かせていただきました。そうしたところでもやはり使用料は取っていると、空調使用料を取っているということでございますが、これにつきましては、他市の状況等も見まして、今後検討していければと思っております。以上であります。

**○委員（奥田富美子）**

47ページ歳入12の学校給食負担軽減交付金のところなのですが、無償化に向けて、保護者が負担しているのは基本食材費だけで計算して給食費となっていたと思うのですが、その部分が、国から補助されるのかという質問で、あと、食材としては、臼杵市は独自にほんまもん野菜とかの分を上乗せして、一般財源から出していたので、その辺りは保障されるものなのでしょうか。

**◎学校教育課参事（高田教一）**

奥田委員の質問にお答えします。歳入12番の給食費負担軽減交付金につきましては、小学生のみ国の基準が1人当たり5,200円ということで、1,258人で算出されます。生活

保護とかをもらっている方はそちらのほうで支給になりますので、単純にその金額を国からいただくようになります。

ほんまもん野菜等につきましては、これから別予算で市のほうに要求していますので、そちらからの支出となります。以上です。

○委員（奥田富美子）

1人5,200円というのは、今の実際に支払っているよりも金額が高くないですか。

◎学校教育課参事（高田教一）

令和8年度の積算ですと、月額が5,580円になる予定としています。

そのうちの5,200円が国からの交付金ということになります。以上です。

○委員（奥田富美子）

不足分は、やっぱり一般財源から持ち出しということになるのですね。

◎学校教育課参事（高田教一）

差額分は単費となります。

○委員（奥田富美子）

もう1点ですが、歳出の19番、50ページ、給食センターの委託費のところ、これは時給幾らで計算していることになりますか。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午後4時12分 休憩

---

午後4時13分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎学校教育課参事（高田教一）

すみません。委託料については、今日資料持ち合わせていませんので、明日説明したいと思います。

○委員（川辺 隆）

安東委員と質問がかぶるのですが、今回の体育館の空調に関しては、約1億円の工事費用がもう既に計上されています。1億の費用計上がされていて、方式としてはガス方式を採用する、それはよく理解ができました。

申し訳ありませんけど、この大空間空調についての知識はこの臼杵市にはありません。設計が終わっているの、これ実は実施設計の費用が1億上がっているんですけど、どういう考え方でこの事業の空調システムを考えているんですか。

◎教育委員会教育次長（佐藤忠久）

川辺委員のご質問にお答えいたします。アリーナ部分の空調を整備するということになっております。基本的には、大分県の場合は、暖房というよりも冷房を基本に考えているというふうなことになっております。

今回は、国の交付金を受けるという前提での予算組みとなっておりますので、国の交付金を受ける場合は、断熱工事が最低限必要だという部分も、一つ、交付金を受ける要件になっておりますので、交付金を受けるのであれば、その断熱工事が入ってくるのと空調設備の工事ということになろうかと思っております。

○委員（川辺 隆）

そのとおりなのですが、アリーナ体育館、もうご存じだと思いますけれども、大空間は冷房特に使う場合、天井部分の空冷は必要ありません。運動を行うところ、観客席があるところの空調になります。大空間空調の場合は、エアフィルター的なものを持ってエアカーテンを僕たちは使うんですけども、それに関してのシステムが実は日本では多岐多様にわたっております。その点について今回、どういう考え方で進めているのかを聞いています。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午後4時15分 休憩

---

午後4時15分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

○委員（川辺 隆）

なぜかといいますと、入札を行った場合、少し気をつけておかないといけないのが、偏ったシステムになる恐れがある。要するに、入札を行った時点で業者が選定される。それだけは、気をつけて行っていただきたいので、そこのところは、発注者として検討してください。

もう1点よろしいですか。文化財課の予算になるのですが、我々、ここにいる市議会議員皆さんも分かっていることで、もう8年になります。鎧坂の改修に関して、もう一つ祇園洲側から上りの石垣の補修に関して、予算計上が今回されているのであれば、説明をしていただきたいんですが、先般、文化・文化財課は、白杵城址公園を特定史跡国の史跡に指定しました。そのときの説明は、この復旧に関して、国の知見、国の費用等がある程度幅広く利用ができるという観点で史跡指定されたんですけれども、この予算は入っているんですか、もう8年以上たちますが、少し答えてください。

### ◎文化・文化財課長（日高昌幸）

川辺委員の質問にお答えいたします。現在、保存活用計画8年9年度で実施をしております。これができましたら、整備基本計画というのを立てなければなりません。これはもう文化庁で決まっているルールであります。その段階で、整備基本計画の中で鏡坂については、どのようにしていくかというのを盛り込み、調査研究しながら設計をしていきたいというふうに考えております。ですので、早ければ令和11年度以降になろうかと思っております。これは、スケジュール的には致し方ない部分でありますので、そういった形で今ところはやっております。

あと石垣の分につきましても、整備基本計画の中でしっかり盛り込んでいくということになります。ただ、あそこは一応避難路でもありますので、その部分を含めて、しっかりと関係課とまた文化庁と協議していきたいというふうに考えております。以上です。

### ○委員（川辺 隆）

今日何度か質問させてもらったのですが、スピード感を持ってということが執行部からもまた委員からも出ております。これこそまさしくスピード感を持って対応していただきたいと思っております。以上です。

### ○委員（河野 巧）

49ページの歳出6番。先ほど何名かの委員の方も質問されたと思うのですがけれども、実施設計対象校、工事対象校ということで、野津ブロック、北ブロック、東ブロック、西ブロックはあるのですが、南ブロックがないので、その理由をお願いいたします。

### ◎教育委員会教育次長（佐藤忠久）

河野委員のご質問にお答えいたします。ブロック毎で決めるのではなくて、これは段階的に決めていこうということでございます。これ今回第2弾というふうになっています。また今後第3第4弾を組んでいきたいというふうに考えておりますので、意図があるわけではございません。以上でございます。

### ○委員（河野 巧）

はい。よろしく申し上げます。歳出の50ページの15番、スクールバス等運行事業、この中に、先ほどご説明の中で47ページの歳入の13番、車両に広告を載せて維持費を捻出しようというお考えだと思っておりますけれども、これは一度作ると何年間か使う形になるのか、要するに、この予算が306万で年間広告を入れる形で、6台10面で制作費として158万円かかるんですけれども、一度作ると、毎年この306万円が入る形になる計算なのか、そうしたときに、こういったところが広告を載せるのか、そういった基準というか要綱みたいなものがもうできてるんでしょうか、申し上げます。

### ◎学校教育課参事（高田教一）

河野委員のご質問にお答えします。今回のスクールバスの広告については、1台当たり51万円で、6台で306万円ですが、初年度のみ広告の制作料がかかって、3年間の継続で契約のほうをお願いしております。

2年目3年目についてはもうそのままの形で行って、また3年後に募集をかけます。

○委員（河野 巧）

もう3年間をお願いしていますという話だったのですが、決まっているということでよろしいでしょうか。

今日、予算審議をしているので、もう決まっています、契約結んでいるということですかね。

◎学校教育課参事（高田教一）

結ぶのは、今回の議会終了後に市長のほうに決裁を取ってそれからになります。今募集かけて審査まで終わった状況です。

○委員（河野 巧）

見積りとか、そういう段階では分かるのですが、決定しているとなると、もうこの予算審議は必要なくなってしまうのでその辺はどうでしょう。お願いします。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午後4時23分 休憩

---

午後4時23分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎学校教育課参事（高田教一）

河野委員のご質問にお答えします。今の段階では要綱を制定しておりまして、業者のほうの選定までは行っている状況になります。

○委員（河野 巧）

業者の選定を終わっている。話が変わってくるのかなと思うのですが、そこは皆さん大丈夫なのですかね。私は変だなと思うのですが。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午後4時24分 休憩

---

午後4時24分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

○委員（河野 巧）

業者がもう既に決まっているのでしょうか、その確認ですお願いします。

◎学校教育課参事（高田教一）

先ほど言いましたように、要綱自体は決裁が下りていまして業者選定まで終わっております。契約はしておりませんので、これから契約になるようになります。

○委員（河野 巧）

教育委員会だけじゃないのですが、財政もいらっしゃるので、白杵市としてはそういうスタンスでよかったのですかね。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午後4時25分 休憩

---

午後4時26分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎教育委員会教育次長（佐藤忠久）

河野委員のご質問にお答えいたします。今回スクールバスの広告料に関しましては、白杵市全体の広告料の庁舎等に広告をかけるときの要綱の規定がございます。それに基づいて今回、市報に募集かけさせていただきまして、早い段階での施行ということで準備に取りかかっているとございます。現在高田参事がご答弁いたしましたように、基本的には業者の申込みが終わっておりますので、その業者の審査、適正な業者であるかどうかの審査は基準に基づいて行っているというふうな状況でございます。ですから、今後予算可決した段階で、そういうふうなポディーにあるようなシールを制作するという事になるかと思っております。以上でございます。

○委員（河野 巧）

ですと、スクールバス運行事業費等もそうですし、要するに募集は終わりました。でも、もしこの審議が通らない場合は、それは別のところに掲示するという事ですかね。

◎教育委員会教育次長（佐藤忠久）

河野委員のご質問にお答えします。予算がつかなければ、当然そのスクールバスに載せられませんので載せません。以上でございます。

○委員（河野 巧）

私もそういう募集かけたこと知らなかったのですから。既にもう、内部でもとってたわけで、どこか市報に載っていたのですね。スクールバスまで。その説明だけお願いします。

◎学校教育課参事（高田教一）

昨年の10月に市報とホームページのほうで募集をかけておりました、締切りが2月いっぱいというふうな形でしております。以上です。

◎文化・文化財課長（日高昌幸）

すみません。先ほど川辺委員の質問に対して私の回答ですけれども、当初8年9年に保存活用計画と申し上げましたが、7年8年にしております。

来年度を目標に今、整備基本計画を9年10年で工事を11年度からというふうになります。年度を間違えました。申し訳ありません。

○委員長（匹田 郁）

以上で教育委員会事務局の議案審査を終わります。

ご苦労さまでした。本日は、これにて散会いたします。

この続きは明日、3月17日火曜日午前10時から全員協議会室で行いますので、議員並びに執行部の皆さんは、出席のほどよろしくお願いいたします。

午後4時29分 散会

---

## 予算委員会 会議録

日 時 令和7年3月17日（火曜日） 午前9時58分 ～ 午前11時44分  
場 所 白杵庁舎2階 全員協議会室

### 出席委員の氏名

委員 長 匹田 郁	副委員長 戸匹 映二	委 員 平川 幸司
委 員 甲斐 尊	委 員 安東 鉄男	委 員 芝田 英範
委 員 河野 巧	委 員 川辺 隆	委 員 匹田久美子
委 員 伊藤 淳	委 員 梅田 徳男	委 員 広田 精治
委 員 奥田富美子	委 員 大塚 州章	委 員 武生 博明
委 員 吉岡 勲	委 員 牧 宣雄	

### オブザーバー

議 長 内藤 康弘

### 欠席委員の氏名

( な し )

### 説明のため出席した者の職氏名

政策監（総務・企画担当）	安東 信二	政策監（福祉保健担当）	柴田 監
政策監（産業担当）	姫野 敬一	教育次長 兼教育総務課長議会	佐藤 忠久
財務経営課長	吉良 猛	税務課長	尾本 浩
学校教育課参事	高田 教一	選挙管理委員会事務局長併 監査委員事務局長	佐藤 英治
農業委員会事務局長	阿南 哲也	水道事業所長併 上下水道課長	村上 和
水道事業所参事監 併上下水道課参事監	日高誠一郎	保険健康課長	川辺みさご
高齢者支援課長	安藤 隆文	議会事務局長	林 昌英
		その他関係職員	

### 出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 次長 小嶋佳希 主幹 原 伸行 書記 工藤真里子

---

傍聴者

( な し )

---

午前9時58分 開議

○委員長（匹田 郁）

少し早いのですが、全員出席ですので、ただいまから予算委員会を開催いたします。

本日の審査に入る前に、学校教育課より発言の申出がありましたので、これを許可します。

◎学校教育課参事（高田教一）

昨日の予算委員会の中で、奥田委員からのご質問で委託費用調理員の時給単価について説明いたします。委託料の設定につきましてはプロポーザル方式で決定しており、プレゼン等の中での見積りについては、委託料の総金額の中で人件費の積算がありますが、トータル金額の積算となっております。月給や受給の社員がいますが、当然のことながら、最低賃金以上の設定がしており、役職や経験年数などで単価が異なっていると伺っております。ですので、企業側の時給単価の設定については、当課では把握はできておりません。しかしながら、契約の中では、物価の上昇、賃金の上昇に伴う場合は、双方での協議を毎年行うようにしていますので、委託先の企業とは、来年度についても協議を行っておりますので、特に問題ないと考えております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前9時59分 休憩

---

午前9時59分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

本日は傍聴の申出があった場合、許可したいと思いますので、ご了承ください。

これより議事に入ります。

昨日に引き続き、第28号議案、令和8年度白杵市一般会計、会計予算を議題といたします。

選挙管理委員会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎選挙管理委員会事務局長（佐藤英治）

( 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 )

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

53ページの歳出1番、白杵市議会議員選挙の選挙費ですけれども、移動投票所が今回から行われることで、この中で前年度と比べてどの部分に費用が発生していますでしょうか、お願いします。

◎選挙管理委員会事務局長（佐藤英治）

河野委員のご質問にお答えいたします。移動投票所として、特に計上といいますか、今回特に増えている部分としましては、報酬の部分で移動投票所の管理者が1名で2日間、立会い人が2名掛ける2日間、延べ4名で金額としては、約6万9000円程度となっております。以上です。

○委員（河野 巧）

以前お聞きしたときに、電波が入るかどうとかというのが、その辺の予算は特に関係なかったですかね、投票にあたっての電波の調整をしたりする費用的なものは。

◎選挙管理委員会事務局長（佐藤英治）

河野委員のご質問にお答えいたします。通信状況等の関係につきましては、移動市役所のほうでの車両の関係となりますので、選挙の投票事務等に関しては特に必要はないということになっております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で選挙管理委員会事務局の議案質疑を終わります。

ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前10時04分 休憩

---

午前10時04分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

続きまして、監査委員事務局の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎監査委員事務局長（佐藤英治）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

（ な し ）

○委員長（匹田 郁）

ございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で監査委員事務局の議案質疑を終わります。

ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前10時06分 休憩

---

午前10時07分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、農業委員会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎農業委員会事務局長（阿南哲也）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で農業委員会事務局の議案質疑を終わります。

ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前10時08分 休憩

---

午前10時09分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、議会事務局の議案について審査を行います。事務局の説明を求めます。

◎議会事務局長（林 昌英）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（広田精治）

1点お聞きします。歳出ナンバーの8番、これまで紙で議事録をずっと作成してきていました。これまでで言えば、配付は告示日だったですね。だから次の議会の直前なのですね。やはり、議員とすれば、一般質問を準備する上で前回の定例会の議事録をやっぱり見る必要がある場合も多々あります。そういう意味で言えば、もっと早くという思いが強いので、早くするために予算が特にかさむとか、そこら辺の事情があれば聞かせてください。

◎議会事務局長（林 昌英）

広田委員の質問にお答えいたします。この件につきましては、以前の当初予算委員会の中で、河野委員からもご指摘いただきました。我々のほうとしても、会議録研究所と2度3度とやりとりしながら修正をしております、それに不測の時間が2か月から2か月半ぐらいかかって、今はホームページのほうで議事録が見られるように、なるべく告示前に出すようにしております。最短でもやはりなかなか、もっと早くという時間が厳しい状況なので、会議録と我々のチェックの関係で、どうしても告示日より早くは出すようにしておりますけれども、それ以上の半月とか1か月早くということはなかなか難しいような状況になります。以上です。

○委員（広田精治）

いろいろ事情、他市の議会事務局の状況なども改めてお調べいただいて、可能な限り早めにするような努力をお願いしたい。これは要望です。質問ではありません。

○委員（奥田富美子）

今のところでですけど、未校了の状況で議員の中で流通させるということは難しいでしょうか。未校了という上で、次の一般質問に生かすという範囲内でどこにも出すことなく、自分たちだけで確認するという目的で早めに出すことは難しいでしょうか。

◎議会事務局長（林 昌英）

基本的には、やはりきちんとできた状態でないと、またそこで修正がかかってというのがございまして、今、事務局の中ではできないことはないと思いますが、なかなかそこまでの判断は、議員さんにも聞きながら、進めていただければと思っております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

よろしいですか。

○委員（川辺 隆）

1点だけ確認をしていただきたいのですが、今回の予算もタブレットを利用しての通信費とかデータ量とか費用が正式に入ってきて、1年間、我々議員としてやってきて、このペ

ーパーレスを推進するという意味で、実際ペーパーがなくなった分の費用と我々がタブレットを使う場面でのこの費用、これを単純比較したときに、費用的にやっぱりこう増したような感じになるのか、それともペーパーを減らした分だけ、費用的には安くなっているのかご見解を聞かしてください。

◎議会議務局長（林 昌英）

実際に金額まではじき出しておりませんので、議運の中でも、ペーパーレスによってこれだけ紙の量が減ったという試算は出してありますけれども、これもあくまでも試算でありまして、正確なものではありませんので。それと、もう1点、ペーパーレスにしたことによって、その分の費用は確かに加算してありますけれども、加えてやはり人件費、人が動く分というのが加味されておりませんので、当然印刷すれば、印刷する時間であったりとかまた配付の時間であったりとか手間もかかりますし、そういったことを踏まえますと、なかなか今の段階で、ペーパーレスにしたことそれまでの費用の差というのはなかなかはじき出せないかなと思っております。ただ、事務的にはかなり軽減はされているということは、職員のほうも、そういった考えはありますけれども。以上です。

○委員（川辺 隆）

議運でもいろんな声がある中で、実は完全ペーパーレスにした反響、影響が実はあります。今、議員からも出ていますけれども、いろんな会議資料の中に紙で配付していただいたほうがいいのではないのか、この予算書等に関しては、そういう意見があったときに、これ来年度以降検討していかなくてはいけないと思うのですが、他市の事例も踏まえて、そういう資料だけは紙で出している市議会が実際あります。予算書とか大事な部分、議案書とかは、そういうふうなことは、事務局としてのお考え検討は何かあるのでしょうか。

◎議会議務局長（林 昌英）

事務局としての見解というよりは、これは議会の中で話すべきことと思っています。

議会として、タブレットにしてペーパーレスにしようという方向で、これを導入したということでございますので、必要な部分は印刷をするということは、当然あるかとは思いますが、そこも含めて議会運営委員会等で協議をしていただければなと思っております。以上です。

○委員（河野 巧）

言われるように、議運で話し合うのも必要だと思っておりますが、56ページの6番、通信運搬費のところでは166万3000円があるのですけれども、使い方として、ワードエクセルぐらいは使いたいというのはあるのですが、そもそもこの中にはデータだけなのでそういったプログラムのものは入っていないという認識でよかったですでしょうかお願いします。

◎議会議務局長（林 昌英）

河野委員のご質問にお答えいたします。今言ったソフトは入っていないという状況になっております。以上です。

○委員（広田精治）

川辺委員の質問と重なる部分があると思うのですが、例えば、全協に配付される様々な説明資料がありますね。とても分かりやすく図解などが入っている、画像も入っているペーパーが、これで見ることになるのですが、ああいうものは、本当に議員にとっては必要なのですけれども、そういうものもペーパーで出すことはないというふうなことで、議会として了解した場があったのですか。

◎議会事務局長（林 昌英）

広田委員のご質問にお答えいたします。議会としてというか、タブレット端末でこういったペーパーレス会議にするということは、そういった資料は印刷しないということになりますので、それを印刷するかしないかという判断も、議運の中でも話をさせていただいたと思いますけれども、以上です。

○委員長（匹田 郁）

この問題は、皆さんもう自分たちで分かっていると思いますけど、自分たちで決めたこととか、それから議運で決定したこと、代表者で決めたこと等々の中で、今この形になっておりまして、これは予算委員会でありますので、そういう問題は那场その場でやっていただきたいと思います。これ以外の予算についての質問は受け付けますが、意見等は受け付けません。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で議会事務局の議案質疑を終わります。

ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前10時22分 休憩

---

午前10時23分 再開

○委員長（匹田 郁）

次に、各特別会計の議案審査を行います。

初めに、上下水道課所管の議案審査を行います。

第29号議案、令和8年度、臼杵市水道事業会計予算を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

◎水道事業所長併上下水道課長（村上 和）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（安東鉄男）

人件費ついてですが、これほどの人件費も1人当たり900万を超す。ちょっと高額かなという印象を受けるのですが、説明をお願いします。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午前10時31分 休憩

---

午前10時32分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎水道事業所長併上下水道課長（村上 和）

安東委員のご質問にお答えいたします。まず給与水準についてのお話ということでよろしいでしょうか。給与水準については、一般会計と変わらないものですから、その基準を利用して算出しております。

○委員長（匹田 郁）

よろしいですか。

○委員（川辺 隆）

僕も同じ人件費のことでお聞きしたいのですが、今回、昨年度の予算か何かで検針員の委託料金の算定の見直しをしたと思われるのですが、これ自身、委託費が多分上がったと思うのですが、それ自体が数年ぶりに行っているのかなという印象があるのです。これは、まだ課長が来る前からずっと長い歴史がある中で、その状況に関して少しだけご説明をお願いします。

◎水道事業所長併上下水道課長（村上 和）

川辺委員のご質問にお答えをいたします。検針員の検針料について、先日の議会の中でもお答えさせてもらったのですが、最近では料金の見直しの話はしているのですが、まだ改定までは行っていないという状況です。以上です。

○委員（川辺 隆）

多分検針員さんの給与等のお声が、間違いなく水道課さんには届いていまして、この見直しに関してのお声がもう届いています。日高参事監は多分もうご存じでしょうけど。これに関しては、もう数年間、僕も聞いたことはないのですが一切見直し行われてないのですよね。そ

うなった場合、昨今の人件費の高騰、またこの人手不足の中の状況からしてみたら、この検針料の委託料は、見直さざるを得ない状況になっているのですよ、業界的には。それに関しての少しお考えを聞かせたいと思います。

◎水道事業所参事監併上下水道課参事監（日高誠一郎）

川辺委員のご質問にお答えします。検針員の人件費、確かに組合のほうから最低賃金等の関係があって上げてほしいということもあるのですが、水道事業会計の運営状況を踏まえて、見直しのほうは、料金改定をするまでちょっと待っていただきたいということでお話をしていて、それ以外には、検針員さんが行きづらい地区等にリモートメーターを設置する等の対策ができないかというような検討して、少ない費用で検針員の要望を聞けるような形で対応のほうを考えていきたいというふうに考えております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

よろしいですか。ほかにごぎいせんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で第29号議案についての質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

午前10時36分 休憩

---

午前10時37分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、第30号議案令和8年度臼杵市下水道下水道事業会計予算を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

◎上下水道課参事監（日高誠一郎）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

ここで10分間休憩いたします。

午前10時49分 休憩

---

午前10時58分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎上下水道課参事監（日高誠一郎）

（ 農業集落排水事業より再開 ）

（ 令和 8 年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

6 2 ページの資本的収支の歳入 3 番。社会資本整備総合交付金なのですが、施設の統合に向けた交付金なのですが、今年度、何年度かにまたぐのか、今年度で終わるような事業なのか、お願いします。

◎水道事業所長併上下水道課長（村上 和）

河野委員のご質問にお答えします。今年から事業が始まっておりまして、来年度までで設計が終わるようにしています。そのあと 2 年間かけて工事のほうに入る予定にしております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにご質問ありませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で第 3 0 号議案についての質疑を終わります。

以上で上下水道課所管の質疑を終わります。

ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前 1 1 時 0 6 分 休憩

---

午前 1 1 時 0 7 分 再開

○委員長（匹田 郁）

次に、保険健康課所管の議案審査を行います。

第 3 1 号議案令和 8 年度臼杵市国民健康保険特別会計予算を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

◎保険健康課長（川辺みさご）

（ 令和 8 年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

**○委員長（匹田 郁）**

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

**○委員（河野 巧）**

68ページの人件費についてですけど、会計年度さんの幅がいろいろと職種によって違うのかなと思ったんですけど。1人当たりの金額をはじくと。そこはどういった業務的なもの、それとも半日とか週何日で勤務とかいうので変わってくるのでしょうか。

**◎保険健康課長（川辺みさご）**

河野委員の質問にお答えいたします。ナンバー13と16につきましては、主に特定保健指導を行う保健師や看護師の会計年度任用職員の人件費となっております。1人当たりの金額については、こちらの13にある414万3,000円が約1人当たりの人件費ということになっております。以上です。

**○委員（河野 巧）**

ですね、13番のほうは1人で414万3,000円、16番ですと3名で750万8,000円であると、金額に差があるものですから、どういった業務の違いがあるのかなというところですか。お願いします。

**◎保険健康課長（川辺みさご）**

ナンバー16の3名分につきましては、ナンバー4の方と1週間の勤務時間等が異なっているため、賃金に多少の差があるようになっております。業務自体は、特定保健指導や生活習慣病の方の保健指導ということで、ほぼ同じ業務を担っていただいている、勤務時間による賃金の差というところであります。以上であります。

**○委員（河野 巧）**

ということは、一応時間給的なものは全ての同じ金額からの計算でよろしいということで、そこだけご確認をお願いします。

**◎保険健康課長（川辺みさご）**

河野委員の質問にお答えいたします。特定健診、それから国保ヘルスアップ事業の保健事業につきまして、保健師、看護師の賃金につきましては時間給としては同じ賃金ということになっております。以上です。

**○委員（安東鉄男）**

歳出の3番。同じく人件費です。3名、2,900万、1人あたり、990万2,000円になると思うのですが、説明をお願いします。

**◎保険健康課長（川辺みさご）**

安東委員の質問にお答えいたします。こちらにつきましては、現在勤務している職員を基準に算出をしております。勤務している職員が5級の職員ということと、あと人件費だけでなく、保険料とかの共済費も含めた人件費となっておりますので、この額全てが職員の給与とい

うわけではなく共済費も含めた金額となっております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにごぎいませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で、第31号議案についての質疑を終わります。

次に、第33号議案、令和8年度臼杵市後期高齢者医療特別会計予算を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

◎保険健康課長（川辺みさご）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

69ページの歳入3番、繰入金ですけれども、保険基盤安定繰入金のほうは、前年度と比べてどれぐらい増えているのか減っているのか、お願いします。

（ 「休憩お願いします」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午前11時21分 休憩

---

午前11時22分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎保険健康課長（川辺みさご）

河野委員の質問にお答えいたします。保険基盤安定繰入金につきましては、令和7年度よりも予算額としては増えてはいるんですが、今正確な数字を持っていないので後ほど回答させていただくということによろしいでしょうか。

○委員（芝田英範）

この歳入2の普通徴収分の滞納繰越分、ここは何で滞納が出るのか、普通徴収者は何名いて、これ多分75歳になる切替えのとき、大概もう年金から特別徴収になるのですが、普通徴収にまだしている方がいるんですか。

◎税務課長（尾本 浩）

芝田委員の質問にお答えいたします。委員おっしゃるように75歳になるときに、一旦年金特徴ではなくて、普徴に切り替ります。それを75歳になったときに、そういう制度を知らずに滞納になってしまうという方が一定程度いらっしゃいますので、そういう方がこの滞納者になるということですので、我々としましては、広域連合と一緒にこういう制度ですと、75歳になったときに、こういう仕組みになって、年金特徴ではなくて普徴に切り替りますのでというお知らせはチラシ等で知らせていますので、引き続きそれは徹底していきたいと思えます。以上です。

○委員（芝田英範）

滞納繰越分が157万9,000円ありますけど、この徴収はどこがしているのですか。

◎税務課長（尾本 浩）

芝田委員の質問にお答えいたします。保険料の徴収につきましては、市町村の業務でございますので税務課のほうで徴収をしております。以上です。

○委員（芝田英範）

特に75歳以上になると皆さん年金暮らしで、この滞納繰越分の滞納者に対しての、督促、こういうを出していると思えますけれど、徴収は上がっていますか、上がっていないで繰越しするケースになっているのですか。

◎税務課長（尾本 浩）

芝田委員の質問にお答えいたします。徴収率でございますが、令和6年度の徴収率を申し上げますと、現年分が99.82%、滞納繰越分が42.67%。現年と滞納合わせて99.61%というふうになっております。令和5年から令和6年にかけては、徴収率は上がっておりますので、引き続き徴収強化をしていきたいと思えます。以上です。

○委員（芝田英範）

やはりこれは、75歳の切替えのときの連絡がうまくいかないから年金から引き落としがなされてなくて、そのまま滞納が続いているというような状況にあらうかと思えます。

そしてまた、こういう方は皆年金暮らしの方ですので、滞納になった場合は督促が来るんですけど、ほとんど払えないというか、払う力が無いというか、そういう方が多いので、75歳になるときの切替えの連絡をしっかりと、年金のほうへの特徴に移行されるようお願いをしておきます。

◎保険健康課長（川辺みさご）

先ほどの河野委員のご質問の令和7年度の保険基盤安定繰入金が分かりましたのでお答えさせていただきます。

本年度令和7年度の保険基盤安定繰入金につきましては、2億2,946万5,000円となっておりますので、令和8年度のほうが約4,500万円程度多い額となっております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で第33号議案についての質疑を終わります。

以上で保険健康課所管の質疑を終わります。

ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前11時27分 休憩

---

午前11時28分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に高齢者支援課所管の議案審査を行います。

第32号議案令和8年度白杵市介護保険特別会計予算を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

◎高齢者支援課長（安藤隆文）

（ 令和8年度 当初予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（奥田富美子）

72ページ、歳出11について教えてください。特定入所者はどういう方を指すのか教えてください。

◎高齢者支援課長（安藤隆文）

奥田委員のご質問についてお答えいたします。特定入所というのが、介護保険施設となりますので、特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設の中での居住費や食費の限度額を超えた分を給付するというふうになっております。以上です。

○委員（安東鉄男）

先ほどの後期高齢者医療特別会計の芝田委員の質問とほぼ同じなのですが、歳入1番、滞納繰越分150万円、第1号被保険者65歳以上で年金から天引きになると思うのですが、この滞納になる理由をと教えてください。

◎高齢者支援課長（安藤隆文）

安東委員のご質問にお答えいたします。介護保険での滞納というところですが、まず、介護

保険が年金から引かれるところがあるんですけど、先ほどの後期高齢と同じように、65歳になったからすぐ年金から引かれるというところではなく、やはりそこで1か月なりの差が生じてしまいます。それと、年金額が1万5,000円に満たない方は、普通徴収となっておりますので、そちらの方については滞納になる可能性はあります。同じく年金から引かれているので令和6年度の実績で収納率としては99.71%と99%は超えているような状況になっております。以上です。

○委員（安東鉄男）

芝田委員と同じですけど、65歳になるときの広報をよろしく願います。99%超しているということで、よろしいかと思えます。

◎高齢者支援課長（安藤隆文）

安東委員のご意見にお答えいたします。現在65歳になられる方は、誕生日の前の月にピンク色の介護保険証というのを配付させていただいて、いつ介護保険料が引かれるかっていうふうなことで、通知を行っています。ただ、今後国のDX化で保険証を発行しなくていいとかいうふうなこともあります。そこはやはりわざと納めないわけではないので、丁寧な説明ができるようにしていきたいと考えております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにごぎいませんか

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で第32号議案についての質疑を終わります。

以上で、高齢者支援課所管の質疑を終わります。

ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前11時39分 休憩

---

午前11時40分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

これより、第28号議案令和8年度白桦市一般会計予算に対する討論に入ります。

○委員（広田精治）

当初予算について、すぐれて市民を向いた予算、全体的にそこは理解していますし、歓迎しているところなのですが、ただ2点だけ私はどうしても同意できない点がありますので反対をします。

部落問題の解決に関する特定の考えを持つ、そういう民間団体が構成している執行委員会の

主催する研修会、学習会、これに大量の職員を派遣して、参加費とか旅費を計上しています。

もう一つは、同じように、団体の発行する新聞あるいは定期雑誌の大量購入もまだ続いています。これらについては、いずれも他の自治体では廃止している。特に大分市が昨年2月の例の事件を経て、過度の配慮に影響を与えているということで廃止したわけで、私は臼杵市もそういう方向に早く進むべきだ、そうしなければ、臼杵市における部落問題の解決は、遅々として進まないどころか、また改めて新しい差別を生み出していくようなことになる。

そういうふうに強く思っています。そういう理由で当初予算に反対です。

**○委員長（匹田 郁）**

ほかにございませんか

（ な し ）

**○委員長（匹田 郁）**

以上で討論を終わります。

これより採決を行います。

第28号議案について賛成の方の起立を求めます。

（ 起立多数 ）

**○委員長（匹田 郁）**

ご着席ください。

起立多数であります。

よって、第28号議案については、原案のとおり可決すべきものとして決しました。

以上で第28号議案についての議案審査を終わります。

次に、特別会計に入ります。

特別会計の第29号議案から第33号議案までは、一括して討論を行います。

（ な し ）

**○委員長（匹田 郁）**

以上で討論を終わります。

これより採決を行います。

特別会計第29号議案から第33号議案については、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（ 「異議なし」の声 ）

**○委員長（匹田 郁）**

ご異議なしと認めます。

よって、第29号議案から第33号議案については、原案のとおり可決すべきものとして決しました。

以上で、第29号議案から第33号議案についての議案審査を終わります。

以上で、本委員会に付託を受けました議案の審査を終わります。

予算委員会を閉会いたします。

午前 11 時 44 分 閉会

---

白杵市議会委員会条例第 30 条第 1 項の規定により、ここに記録を作成する。

令和 8 年 3 月 17 日

白杵市議会

予算委員会委員長 匹田 郁